

乳児等通園支援事業(こども誰でも通園制度)の概要について

1. 制度創設の背景及び目的

- 0～2歳児の約6割が保育所等に通っていない未就園児と言われています。保護者の中には「孤立した育児」による不安や悩みを抱えている方が一定数いるものと思われ、そうした子育て家庭への支援の強化が課題となっています。
- 全てのこどもの育ちを応援し、良質な成育環境を整備するとともに、全ての子育て家庭に対して、働き方やライフスタイルにかかわらない形での支援を強化するため、「こども誰でも通園制度」が創設されました。

2. 制度の概要

- 幼稚園や保育所等における幼児教育・保育給付とは別に、月 10 時間までの利用可能枠の中で、就労要件を問わず、時間単位で柔軟に利用できる新たな通園給付です。
- 令和 8 年 4 月から全国の自治体で実施されることとなっています。
- 保育所等を利用していない 0 歳 6 か月から満 3 歳未満までのこどもが対象となります。

	0 歳	1 歳	2 歳	3 歳	4 歳	5 歳	6 歳
就労要件あり	保育所、認定こども園等 ※小学校就学まで						小学校
就労要件なし	こども誰でも通園制度 ・就労要件を問わない ・月 10 時間までの利用可能枠 ・時間単位の柔軟な利用 ※0 歳 6 か月から満 3 歳未満まで			幼稚園 ※満 3 歳から小学校就学まで			

3. 実施する施設

- 子育て支援センターひまわり(つだ保育所内)
 - ※「子育て支援センターひまわり」を利用する親子と、「こども誰でも通園制度」を利用するこどもを同室で受け入れる予定です。
 - ※佐野幼稚園の空き教室を改修し、令和 8 年度中に「子育て支援センターひまわり」と「こども誰でも通園制度」の機能をつだ保育所から佐野幼稚園に移転する予定です。

4. 今後のスケジュール

- 令和 7 年11月～12月 市民及び関係各所への周知(市報, 市 HP, SNS, チラシ等)
- 令和 8 年 2月～ 3月 利用申請(事前登録)受付開始, 施設利用予約受付開始
- 4月 こども誰でも通園制度運用開始

令和7年9月定例会 契約議案（工事）

（単位：円）

契約の件名 （仮契約日・契約期間）	設計金額 （税込）					予定価格 （税込）	契約金額 （税込）	契約者	
		直接工事費 (a)	諸経費等 (b)	工事価格 (c) (a)+(b) 端数切捨	消費税 (c)*10%			代表構成員 の出資比率	それ以外 の出資比率
市毛小学校給食室改修建築工事 （令和7年6月19日・令和8年9月30日まで）	159,797,000	104,614,151	40,655,849	145,270,000	14,527,000	159,797,000	159,500,000	川崎・大曽根特定建設工事共同企業体	
								㈱川崎建設 65%	㈱大曽根建設 35%

※契約期間の始期は議会議決の翌日となります。

令和7年9月定例会 契約議案（物品）

（単位：円）

契約の件名 （仮契約日・契約期間）	設計金額			予定価格 （税込）	契約金額 （税込）	契約者
	（税込）	設計金額 （税抜）	消費税 計*10%			
市毛小学校給食備品購入 （令和7年7月28日・令和8年9月30日まで）	89,757,250	81,597,500	8,159,750	88,550,000	87,065,000	日東調理機(株)

※契約期間の始期は議会議決の翌日となります。



資料1

令和7年9月16日

文教福祉委員会所管事項説明資料

教育委員会事務局指導課

学校部活動の地域移行（展開）について

内容

- 1 目指す地域クラブ活動の姿
- 2 活動環境整備の方向性
- 3 今後のスケジュール

1 目指す地域クラブ活動の姿

★学区を越えて「やりたいこと」を選択

- 学校部活動に設置してある種目
- 学校部活動に設置のない新種目
- 気軽に楽しめる活動から競技性の高い活動など、生徒の志向に合った活動環境

※地域クラブ活動の他にも、塾等の習い事や民間クラブによるスポーツ・文化芸術活動など、個人の希望によって活動を選択することも可能。



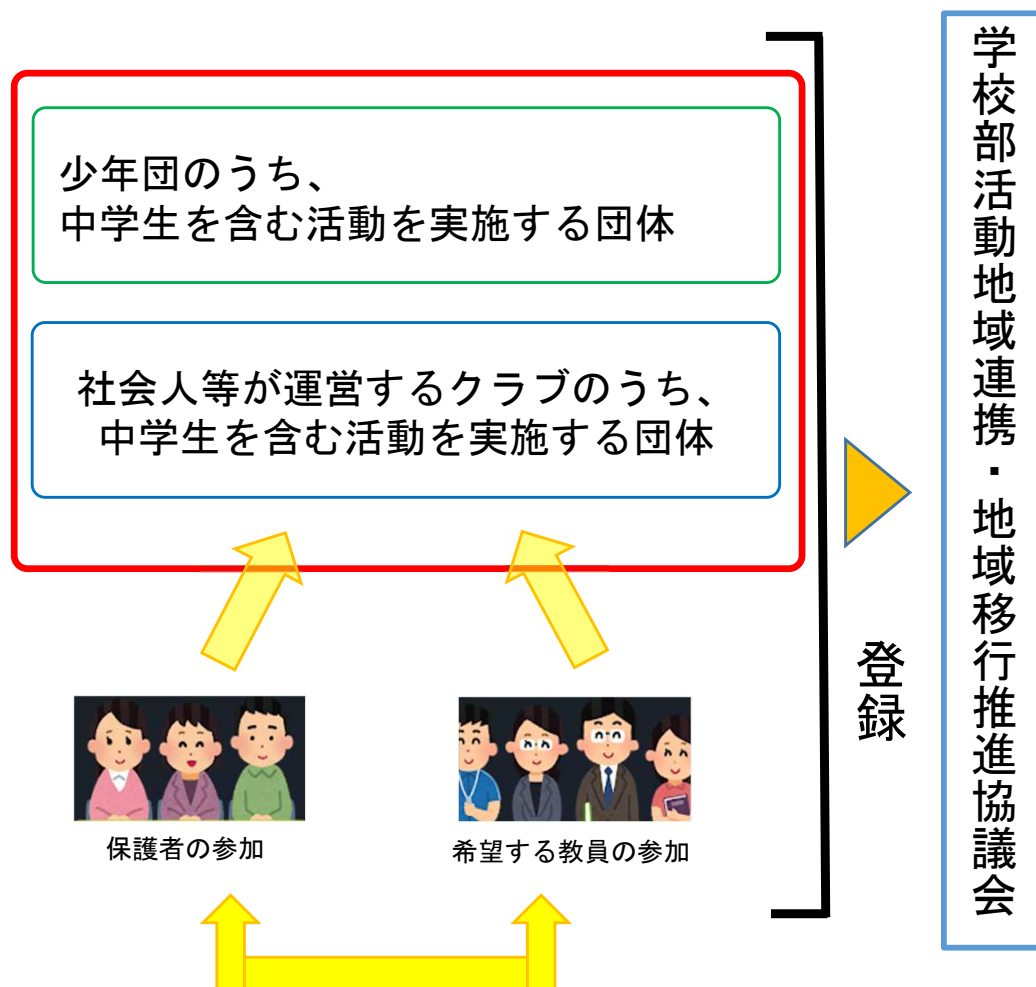
1 目指す地域クラブ活動の姿

★「地域クラブ活動」と学校部活動の違い

	地域クラブ活動	学校部活動
運営主体	地域の様々な団体（登録）	学校
指導者	多様な人材、 兼職兼業を希望する教員	教員、部活動指導員、 部活動外部指導者
参加者	生徒（市内全域が活動範囲）	当該校の生徒
活動場所	学校施設、地域の諸施設	学校施設
費用負担	月会費等 ※国から示される方針を基に公費負担を検討	部費、後援会費、 大会奨励費
保 険	スポーツ安全保険等	日本スポーツ振興センター

1 目指す地域クラブ活動の姿

★「地域クラブ活動」までの流れ



ひたちなか市内の中学校施設を中心に利用

- ①活動内容等をHPで紹介
- ②希望により、活動場所を調整



地域で開催している多様な活動に中学生も参加
学校や世代を越えた地域との交流

2 活動環境整備の方向性

※今後、示される予定の国の指針を踏まえ具体を検討していく。

- (1) 活動団体
 - ①スポーツ少年団のうち、中学生を含む活動を実施する団体
 - ②社会人等が運営するクラブのうち、中学生を含む活動を実施する団体
 - ※現在、学校部活動に設置している種目について、1種目につき1つ以上
- (2) 運営
 - 各団体が自主運営(活動の趣旨、指導者報酬、運営費用、受益者負担、保険加入等)
 - ※「市部活動の活動方針」を遵守した活動
- (3) 活動場所
 - 各団体の現在の活動拠点が基本
 - 希望により、中学校を中心に学校施設を開放 → ※学校体育施設開放事業を参考に調整
- (4) 指導者
 - 活動団体の指導者が中心
 - 【必要に応じて】県人材バンクの活用、兼職兼業教員の募集 → 団体の希望によって市が調整
- (5) 設備等
 - 【ゴール・ネット等】備え付けの設備を使用
 - 【用具類(バット・ボール等)】各団体で準備・管理
 - ※運搬困難な楽器等は、活動場所に保管できるように調整
- (6) 活動費用
 - 受益者負担を基本
 - 受益者負担の水準について、国から示される金額の目安を考慮し検討
 - ※【生活困窮世帯への支援】就学援助制度に準じた対応を検討
- (7) 周知・広報
 - 活動団体一覧をHPで周知 ※生徒・保護者が選択・申込

2 活動環境整備の方向性

登録の条件（案）

- （１）市内の中学校に在籍している生徒及び市内に在住している中学生が参加できるクラブであること。
- （２）「ひたちなか市部活動の活動方針」に沿った活動（休養日、活動時間については遵守）であること。
- （３）団体の規約、年間活動計画、年間収支予算、役員名簿等を整備していること。
- （４）活動拠点は原則としてひたちなか市内とすること。
- （５）会員から運営に必要な会費等を徴収していること。
- （６）地域クラブに参加する会員（中学生及び保護者）が自由に加入及び脱会できること。また、脱会の際の会費等の取り扱いを明確にしておくこと。

3 今後のスケジュール

【2025.9.16】

年月		R7年度（9月以降予定）												R8年度
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月～
協議会 (庁内+外部)						・協議会② (8/26) 協議事項 ●進捗状況報告 ●指導者・団体の確保		・協議会③ 協議事項 ●登録、申請、募集 ●地域クラブ活動運営ガイドライン				・協議会④ 協議事項 ●試行期間から見えてきた 課題への対応		
検討委員会 (庁内) 市教委			・検討委準備 WG③(5/28)	・検討委員会 ③(6/3)		・検討委準備 WG④(8/18)		・検討委準備 WG⑤ ・検討委員会④			・検討委準備 WG⑥ ・検討委員会⑤			
市議会			・調査検討 特別委員会 (5/25)	・議会 【定例会】			・議会 【定例会】			・議会 【定例会】			・議会 【定例会】	
関係団体 ヒアリング等				・スポーツ協会 総会 (6/5)	・スポーツ 少年団総会 (7/9)					R8.4月から実施 団体対象の地域クラブ 活動説明会	R8.4月から実施 団体対象の募集開始			
		<div>バレーボール バスケットボール</div> <div>柔道・剣道・吹奏楽 ソフトテニス・陸上競技</div> <div>活動意向のある団体 対してのヒアリング</div> <div>選択肢を広げるための団体発掘・整備（場合により、多様な活動含む）</div>												
地域 クラブ 活動	R8.4月～					活動意向 のある団体への依頼						R8.4月から活動する 団体の決定		地域クラブ 活動 (多様な活動含む)
	R8.1月～							試行期間に活動する 団体の決定						
	先行実施 (実証事業)	実証事業		活動団体の希望により、先行できる種目から地域クラブ活動を開始										
広報						先行実施種目掲載		試行期間に活動する 13種目団体一覧掲載		活動団体一覧は確保状況を随時更新し、R8.4月スタートの活動も周知				○活動の紹介 ○一覧の更新
学校							兼職兼業の 希望調査	(校長会) 試行期間中の活動 説明			(校長会) R8.4月からの 地域クラブ活動説明			
生徒 保護者								試行期間での 活動申込開始			地域クラブ活動試行 期間への参加		R8.4月からの 参加申込開始	地域クラブ活動 への参加

○活動意向のある団体に対してのヒアリング状況

〈ヒアリング1回目〉 ○既存部活動13種目の少年団等に受け入れ・運営の意向と課題を訊ねた。 ○意向を示してくれたのは27団体。活動実績のある8団体を加えると計35団体。		〈ヒアリング2回目〉 ○35団体を対象に、活動場所・指導者等の課題について詳細を詰める。 ○それにより、先行（8月～）、もしくは試行（1月～）の促進に資する。 ※活動実績のある団体、指導者・会場の確保が見通せている団体からヒアを開始。		◎：現条件で活動可能 ○：課題はあるが活動可能 △：課題をクリアできれば活動可能 未：課題が多く検討が必要	★：中学校施設を希望
--	--	--	--	--	------------

	種目名	市内部活 加入人数	クラブ活動 参加想定 (7割)	活動意向のある団体	受入の意向等	活動場所 (希望)	活動開始 の可否	活動を開始するにあたっての課題（★）				備考
								運営団体	会場・時間	指導者	費用補助	
1	軟式野球	159	111	3 団体	前回の活動では約50人参加。今年度は、運営団体が確保できなくても、兼職兼業の教職員で実施していく。参加人数が多ければ、複数会場で実施する。	市内中学校グラウンド	○		★			・できれば運営を民間企業に依頼していきたい ・できれば市の球場を使用できるとよい
					条件が整えば可能。	団体拠点グラウンド (市内中学校グラウンド)	△		★		★ 用具	
					条件が整えば可能。	団体拠点グラウンド (市内中学校グラウンド)	未		★	★	★ 用具、遠征費	・会場に倉庫の設置
2	サッカー	222	154	3 団体	市内中学校サッカー部と連携して活動を行っている。参加費の徴収はしていない。	市内中学校グラウンド	◎					
					クラブ内に協議会を立ち上げた。自分たちでできる形を検討する。まずは、湊地区ではじめる。	団体拠点グラウンド 市内中学校グラウンド	◎					・サッカー以外の種目への展開をする場合の事務負担
					条件が整えば可能。	団体拠点グラウンド	△		★ 時間延長	★		・小学生と中学生の時間を分けて行えるなら可能
3	ソフトボール	92	64	3 団体	現在の活動を継続する。	団体拠点グラウンド	◎					
					受入については前向きに検討したい。	市内小学校グラウンド	未					・具体的な活動については、今後の動向や説明等を聞いて検討する
					中学生を含め団員を確保したい。	市内小学校グラウンド	◎					
4	陸上競技	男169 女118	男118 女82	1 団体	中学生も一部参加している。（0B・0G）	団体拠点グラウンド	△		★	★		・競技場の定員緩和 ・兼職兼業の教職員の協力 ・活動を継続させるためには、公的な援助が必要と考える
5	ソフトテニス	男286 女253	男198 女175	1 団体	生徒・保護者への活動周知をしてもらいたい。 試合と同様の環境で活動したい。中学校施設を使用しての活動は望まない。	団体拠点テニスコート	◎					・中体連ルールに沿った活動では不十分と感じている
6	バレーボール	男175 女207	男122 女142	4 団体	参加費の見直しを図り活動を継続する。	市内中学校体育館	◎					
					現在は20人程度、参加費なしで平日夜間に行っている。10月からは参加費を徴収して活動をはじめる。	市内小学校体育館 (市内中学校体育館)	○		★			・今活動に参加している中学生のみとしたい ・活動してみても継続が可能か検討する
					上記団体と合同で実施する考えである。	団体拠点体育館	○		★			・活動を継続するためには、公的な援助が必要と考える
					現在も希望者が、8名程度休日に練習している。 日曜日PMに活動が可能。	市内小学校体育館 (市内中学校体育館)	○		★			・平日と休日の活動を連携させるのが難しい ・地域クラブ活動を休日に持続させられるのか
7	バスケット ボール	男154 女160	男107 女111	5 団体	クラブの活動とは、別に教室の実施を考えている。	市内中学区体育館	◎					・中体連主催大会への参加は、現在の競技細則上、不可
					中学校施設が使用できれば可能性はある。	市内小学校体育館	△		★	★		
					競技志向の活動は困難。（大会に向けた練習等）	市内小学校体育館	△		★			・活動の形態を検討する必要がある
					中学校施設が使用できれば可能性はある。	市内小学校体育館	△		★	★		
					卒団生が練習に参加することはある。	市内小学校体育館	△		★	★		・小学生の活動がメイン
8	卓球	男153 女148	男107 女103	4 団体	少年団に加入すれば受け入れは可能。 （中学生を受け入れている）	市内コミセン	◎					
					現状の活動後の時間であれば、受け入れは可能。	市内コミセン	未		★ 時間延長	★ 3名	★ ボール補充	
					活動場所の提供に留まる。	市内コミセン	△			★ 3名		
					条件が整えば可能。	市内体育館	未	★	★	★	★ ボール補充	・事務手続きを担う人材が必要
9	体操競技	男12 女25	19	1 団体	市内、市外の中学生在が在籍し活動している。	市内中学校体育館	○		★ 休日昼間			・中体連主催大会への参加は、現在の競技細則上、団体戦は不可
10	柔道	13	9	4 団体	現在の活動を継続。	団体拠点道場	◎					
					中学生が在籍し活動している。	団体拠点道場	◎					
					現在の活動を継続。	市内中学校柔道場	○		★ 休日昼間			
					市内中学校の柔道部に在籍している生徒が活動。	市内中学校柔道場	○		★ 休日昼間			・クラブとして中体連主催大会に参加するかは検討が必要
11	剣道	男43 女37	男29 女25	3 団体	道場の活動には中学生も在籍している。	団体拠点道場 市内中学校武道場	◎					・市内中学校道場の柔道場側、畳を上げて広く使用できるとよい
					道場の活動には中学生も在籍している。	団体拠点道場	△			★		・道場の活動は部活動ガイドラインには沿っていない ・実施するのであれば、道場とは別の活動となる
					道場の活動には中学生も在籍している。	市内小学校体育館	○		★ 休日昼間			
12	吹奏楽	277	193	2 団体	前回の活動は約40名参加。今年度の秋頃から、1・2年生を対象とした活動を開始。	市内小学校体育館	◎					
					中学生の募集は、今後行っていく予定。中1生徒が2名在籍。（小学校から在籍）	市内小学校体育館	◎					・できれば空調設備が整った施設を希望 ・講師謝金が高額
13	合唱	19	13	1 団体	現在の活動場所であれば10名程度の受け入れ可能。	市内コミセン	△	★				・運営に関わってくれる人材を希望

ひたちなか市立新中央図書館基本設計について

1 基本設計の概要

別紙「資料2」のとおり。

2 基本設計決定までの経過

令和7年4月	基本設計（案）策定
令和7年5月26日	6月庁議（報告）「基本設計（案）について」
令和7年6月11日	市議会全員協議会
令和7年6月23日	市議会文教福祉委員会（所管事項説明）
令和7年6月25日	パブリックコメント <u>公募開始</u> ※公募期間 30 日
令和7年7月 3日	図書館協議会
令和7年7月 6日	新中央図書館市民ワークショップ「基本設計案をみんなで見てみよう！」の開催
令和7年7月24日	パブリックコメント <u>締め切り</u>
令和7年8月19日	新中央図書館整備検討委員会－基本設計について－
令和7年8月25日	9月庁議決定－基本設計について－

※決定した基本設計（概要版）については、市のホームページで公表予定。

3 パブリックコメントの結果

■実施概要

(1) 募集期間

令和7年6月25日（水）～令和7年7月24日（木）【30日間】

(2) 公表資料

ひたちなか市立新中央図書館基本設計（案）概要版

(3) 閲覧方法

市公式HP，各図書館，那珂湊支所，各コミュニティセンター，ふぁみりこらぼ

(4) 意見を提出できる方

市内に在住・通勤・通学の方，市内に事務所を有する方

(5) 提出方法

郵便，FAX，電子メール

■結果概要

(1) 意見の提出状況

人 数	意見数
21人	91件

(2) 意見の分類

分 類		意見の具体例	件 数
1	総論・コンセプトに関する こと	・コンセプトの独自性に関する意見 ・建屋のデザイン性に関する意見	13件
2	構造・整備諸室の配置等 に関すること	・窓面と日射による資料焼けについて ・吹き抜けによるエネルギー効率の低下の懸念	20件
3	機能・仕様・備品に関する こと	・カフェに関するご意見 ・ロッカーやデジタルサイネージの整備	29件
4	環境配慮に関すること	・太陽光発電設備の整備について ・地下水の活用について	3件
5	事業費に関すること	・事業費の高騰について ・活用可能な国庫補助について	2件
6	アクセス・周辺配慮に関 すること	・コミバス等の公共交通に関する意見 ・渋滞対策，周辺住宅のプライバシー配慮	7件
7	運営に関すること	・ボランティア等，市民参加について ・職員の配置や専門性の向上に関する意見	13件
8	その他	・ブックスタート事業やアウトリーチサービス など，新図書館との関連性が低い事項	4件

(3) 結果概要の公表

いただいた意見の概要及び市の考え方をまとめたものを，市のホームページで公表予定。

ひたちなか市立新中央図書館 基本設計図書（概要版）

2025 年 5 月 ひたちなか市

■計画概要

□敷地概要

施設名称：ひたちなか市立中央図書館

地名地番：茨城県ひたちなか市石川町地内 25 番、25 番 3

敷地面積：30,174.55 ㎡（内 . 図書館計画範囲：約 9,000 ㎡）

用途地域：第 2 種住居地域

指定建蔽率：60％（都市公園法：15％）

指定容積率：200％

地区計画：石川・青葉地区地区計画

防火指定：指定なし

道路幅員：北側：11m、西側：8 m、南側：8m、東側：6 m

□建築計画概要

施設用途：図書館法第 2 条第 2 項に規定する公立図書館

建築面積：約 3,500 ㎡

延べ面積：約 4,500 ㎡

容積対象面積：約 4,500 ㎡

容積率：約 15%＜許容：200％

建蔽率：約 12%＜許容：15%

建築物の高さ：GL+9.5m

最高高さ：9.5m＜許容：10m（地区計画）

構造：鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）

階数：地上 2 階

駐車台数：約 120 台（車椅子使用者用 3 台含む）

駐輪台数：約 80 台

エレベーター：乗用 2 台

収蔵可能冊数：約 40 万冊

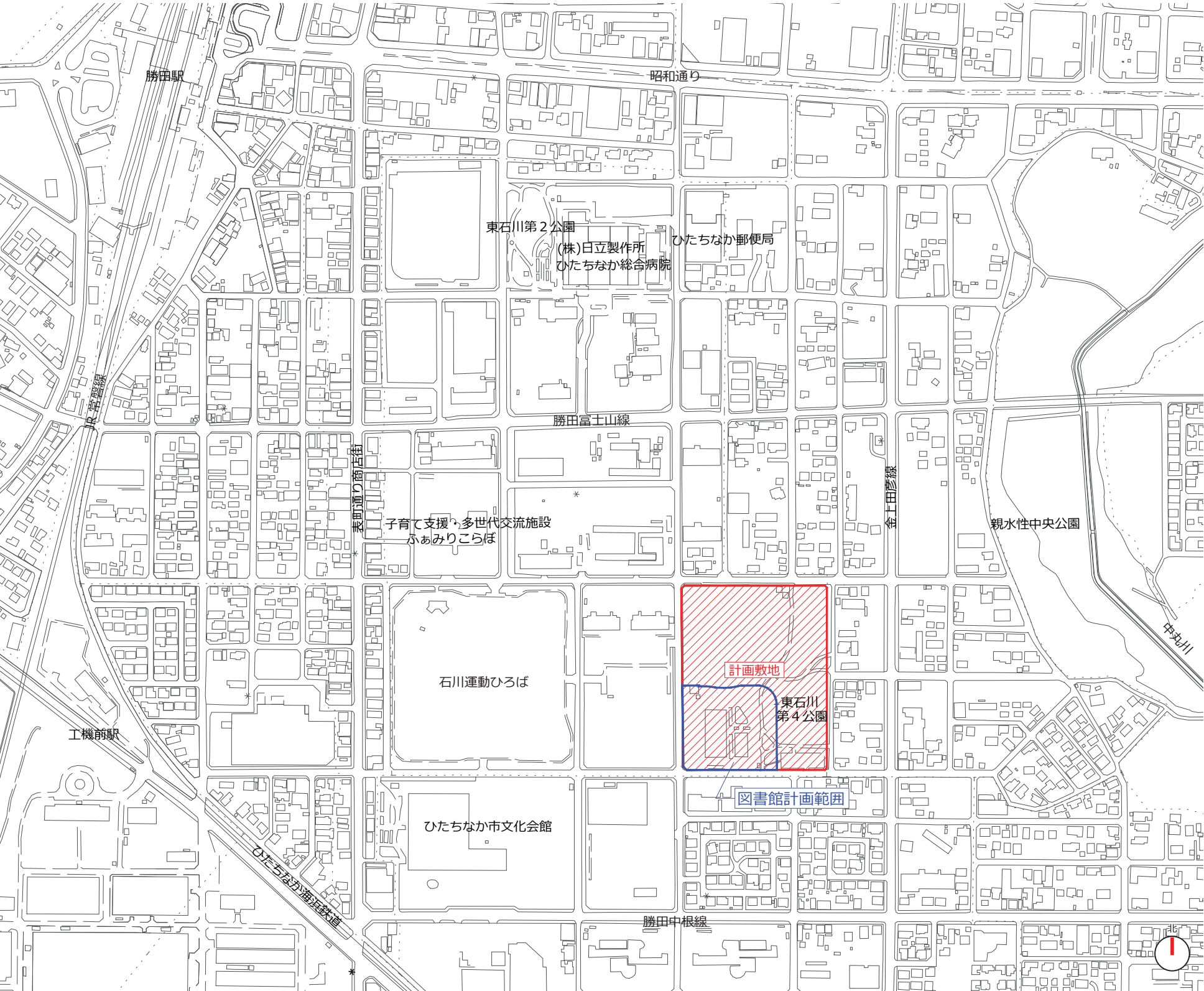
座席数：約 450 席

省エネ適合：ZEB Ready

□事業スケジュール

	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年
	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和10年度
工程	基本設計	実施設計	発注	新築工事	移転 開館

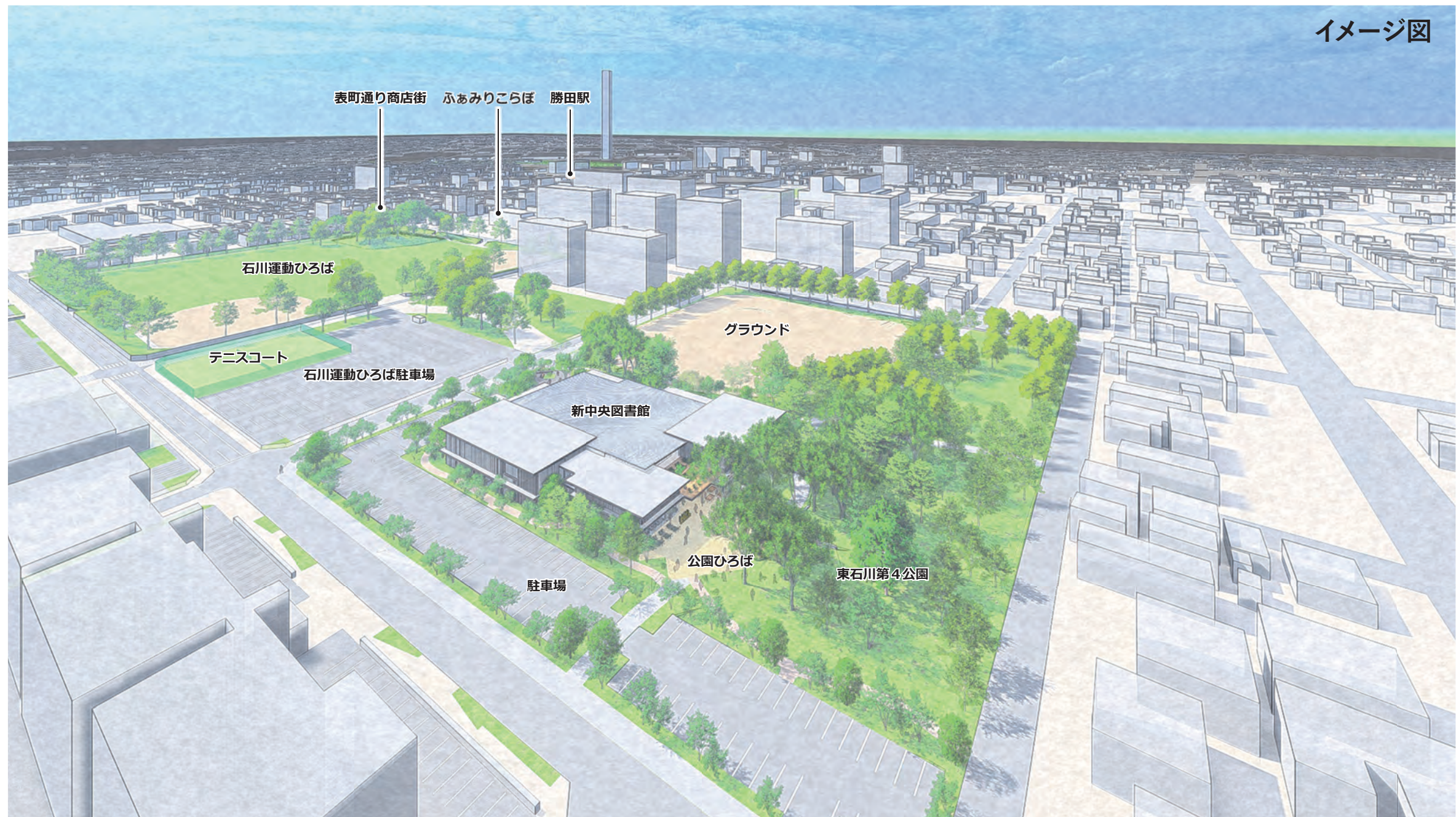
□案内図



■ 設計コンセプト

心地よい緑の中で、ひたちなかの魅力に出会える、交流・情報・創造拠点

- 1 公園との一体的な整備を活かした、まちとつながる図書館
- 2 "人の活動・まちの情報・新たな本" と出会える「シビックリング」を骨格とした図書館
- 3 様々な活動が独立しつつ共存できる、誰もが安心して利用できる図書館



新中央図書館のイメージ
※今後の検討により、一部変更が生じる可能性があります。

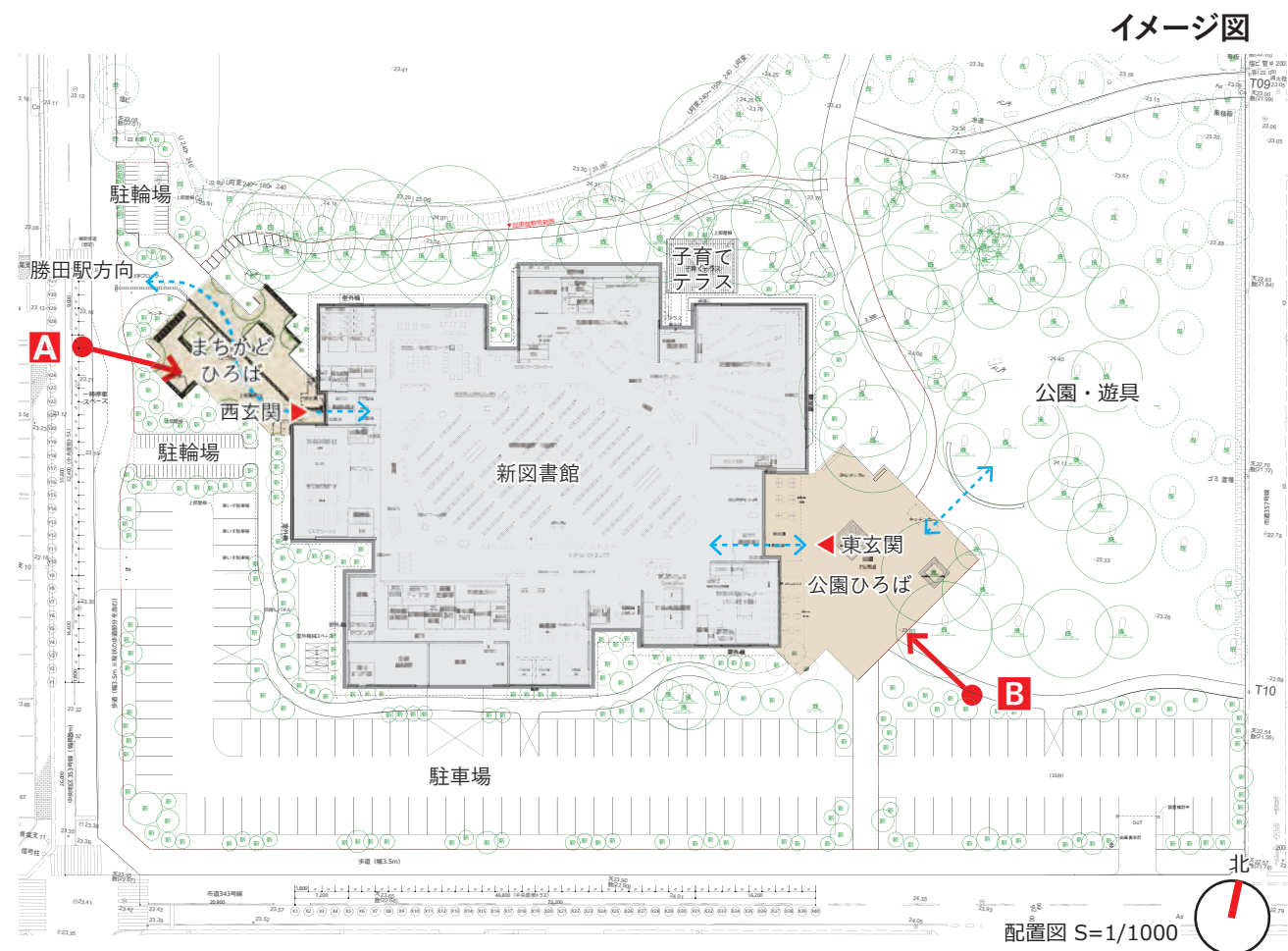
1 公園との一体的な整備を活かした、まちとつながる図書館

1. 緑・光・風あふれる快適な図書館

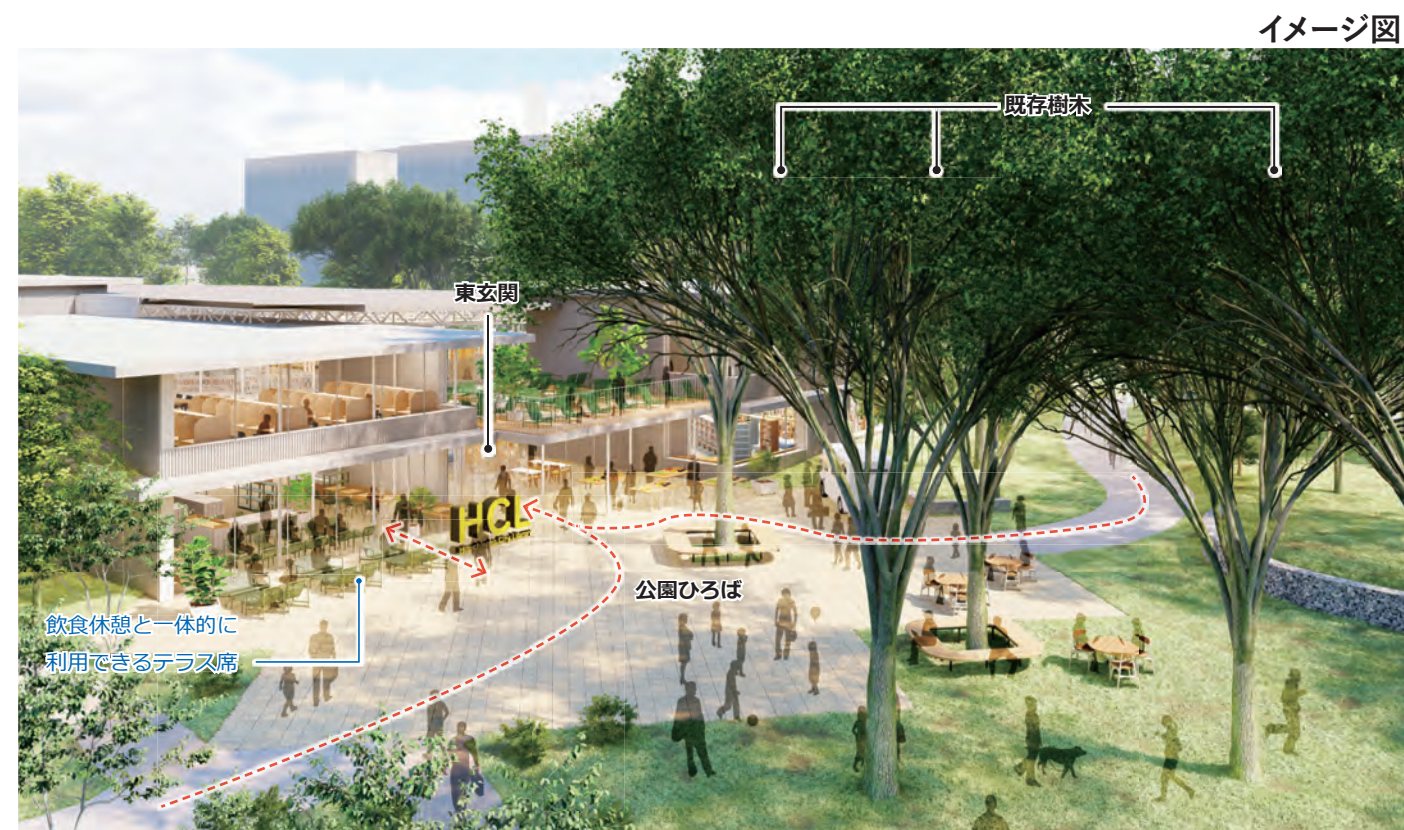
- ・既存樹木を活かしつつ敷地内に樹木を適切に配置し、館内のどこからでも公園の緑豊かな景観が感じられる計画とします。
- ・年間を通して安定した間接光が得られる北側の自然採光を生かした、明るく快適な館内環境を形成します。
- ・公園の涼しい風や新鮮な空気、木々が揺れる音が感じられる、公園と一体的な図書館ならではの環境づくりを行います。

2. まちとつながる2つの広場

- ・勝田駅（北西）および公園（南東）からのアプローチ空間に「まちかどひろば」「公園ひろば」の2つの広場を設けます。図書館や公園と連携した様々なイベントが可能なスペースとすることで、中心市街地の活性化にも貢献します。
- ・広場はゆとりあるスペースを確保することで、くつろいで過ごせ、マーケット、コンサートなど、様々なイベントが開催しやすい設えとします。



A 勝田駅方向からの人を受け入れるまちかどひろばのイメージ（敷地北西から）
※今後の検討により、一部変更が生じる可能性があります。



B 公園と一体利用できる公園ひろばのイメージ（敷地東側から）
※今後の検討により、一部変更が生じる可能性があります。

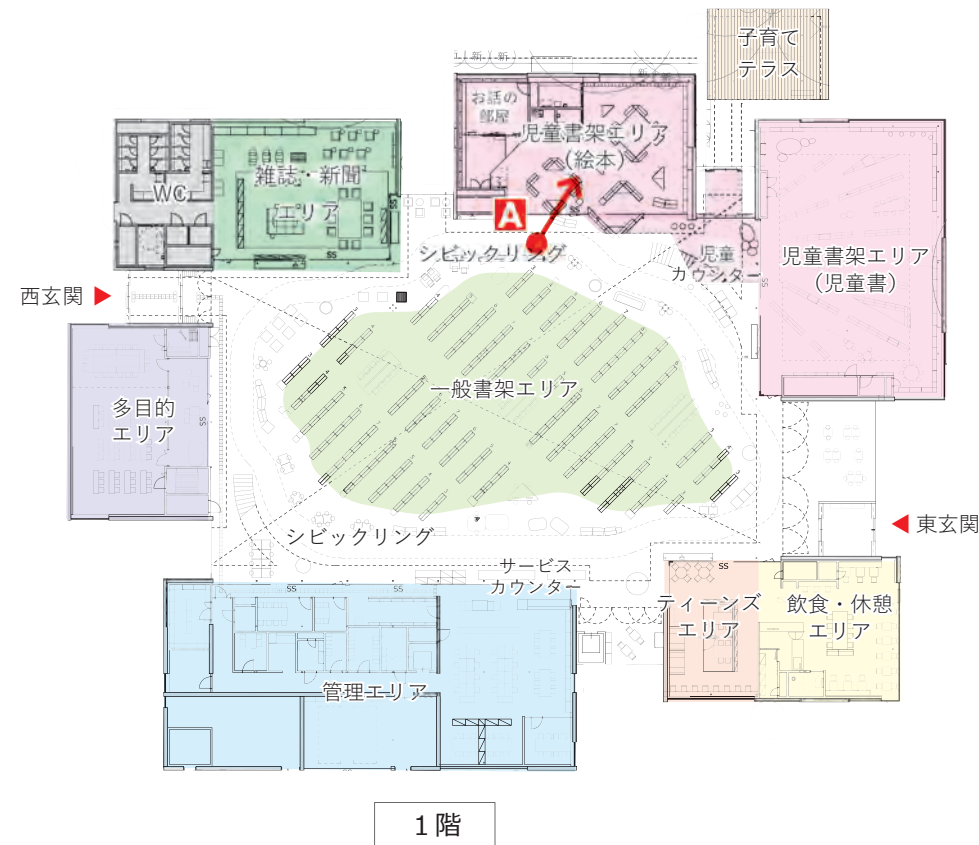
3 様々な活動が独立しつつ共存できる、誰もが安心して利用できる図書館

1. 中央に開架書架、外周部に各活動エリアを分散配置

- ・全ての人がアクセスしやすく、日射など外からの影響を受けにくい施設中央に一般書架を配置します。
- ・施設内を8つの活動エリア（雑誌・新聞、児童書架、多目的、管理・閉架書架、ティーンズ、飲食・休憩、学習、郷土資料・参考図書）に区分し、各活動エリア間の相互利用を考慮しつつ、適度な距離で外周部に配置します。
- ・各エリアの独立性を高めることで、賑やかに遊びたい子どもや、静かに本を読みたい大人等、それぞれの活動特性に適した環境づくりを行います。

2. 見通しの良い大きなワンルーム空間

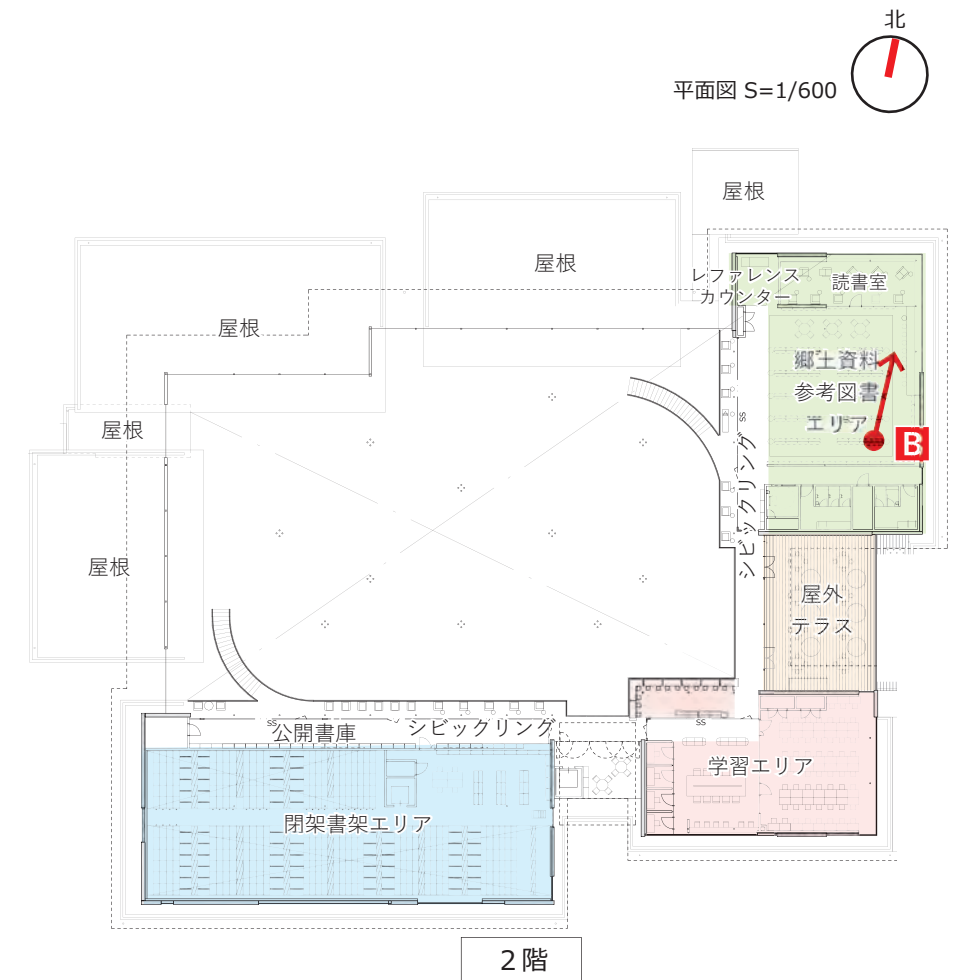
- ・中央の一般書架エリアは、吹抜を設けた高天井とし施設全体が見渡せる開放的な空間とします。
- ・図書館ならではの本の世界観や、多世代の様々な活動が見えることで、本や人との偶発的な出会いを生み出します。
- ・各エリアの見通しを良くし、誰もが安心して利用できる空間づくりを行います。
- ・シビックリングを2階までつなげ、2階の積極的な利用を促進し、郷土資料や公開書庫に並ぶ様々な資料など、図書館が持つ知との出会いを生み出します。



イメージ図



A 親子で安心して楽しめる児童書架エリアのイメージ
※今後の検討により、一部変更が生じる可能性があります。



イメージ図



B 公園の景観を楽しみながら、ゆっくりと本を読める2階郷土資料・参考図書エリア (2階) のイメージ
※今後の検討により、一部変更が生じる可能性があります。

■内観イメージ

イメージ図



全体のイメージ

シビックリングのイメージ



A 西玄関前



B 雑誌・新聞エリア前



C 児童書架エリア（絵本）前



D 児童書架エリア（児童書）前



E 公園ひろば・展示スペース前



F 東玄関前



G サービスカウンター前



H 多目的エリア前

※今後の検討により、一部変更が生じる可能性があります。

■平面計画（各階平面）

□ゾーニング・フロア構成

- ・勝田駅側、公園側の両面から利用できるよう、東西それぞれに玄関を配置します。
- ・中央に一般書架、外周部に各活動エリアを配置し、その間の回遊空間にシビックリングを設けます。
- ・1階のワンフロアに子どもから大人までを対象とした書架を配置することで、親子連れでの利用しやすさを高めるとともに、世代にとらわれない本との出会い、交流を創出する計画とします。
- ・1階は児童書架エリア（絵本・児童書）、飲食休憩エリアなど賑わいのある空間、2階は学習室や読書室など静かな環境が求められる空間を配置し、空間ごとにふさわしい音環境を形成します。

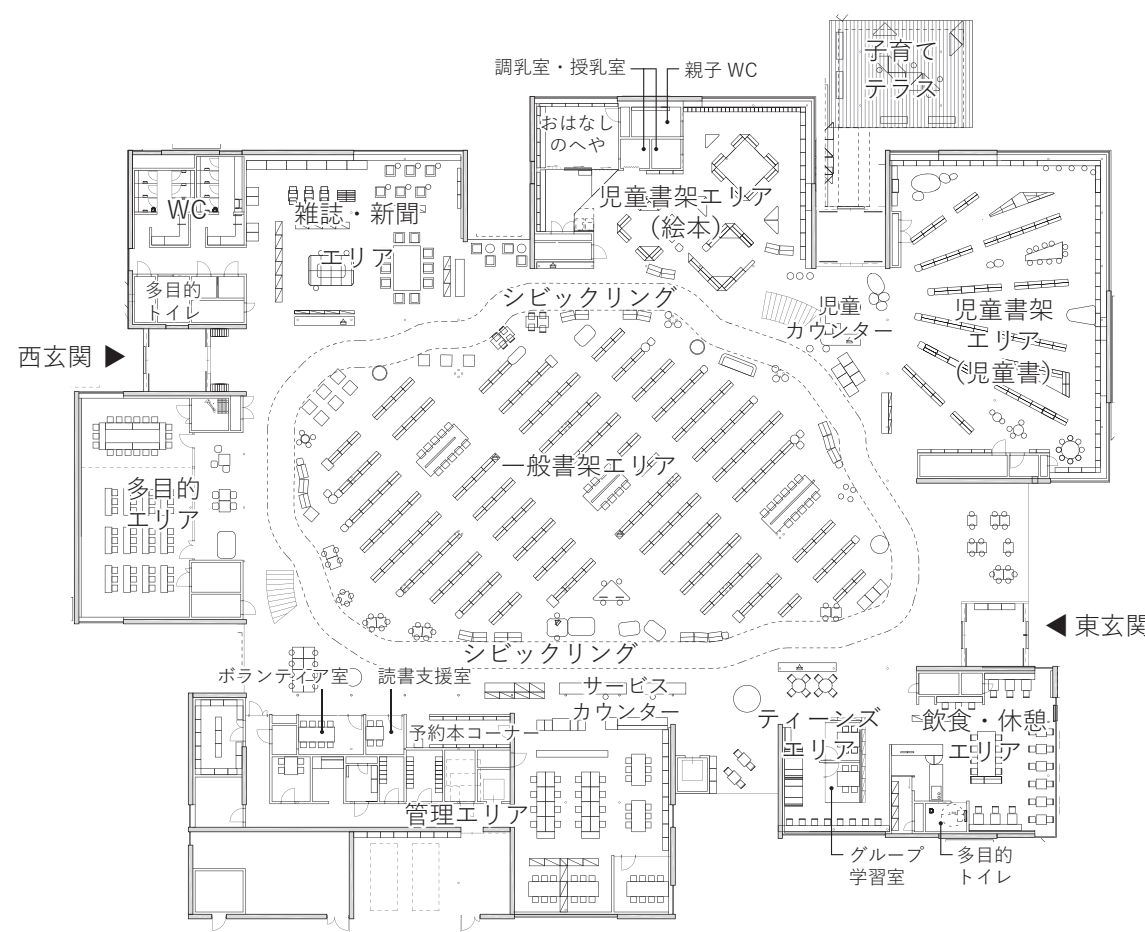
□1階

- 一般書架エリア
 - ・どこからでもアクセスしやすく、本を探しやすい書架配置とします。
 - ・シビックリングの展示や特集などとあわせ、偶然の新たな本との出会いも創出します。
- 多目的エリア
 - ・西玄関に近接配置し、講演会や映画鑑賞、各種イベント時の大人数のスムーズな移動に配慮します。
- 雑誌・新聞エリア
 - ・幅広い世代が気軽に利用できる図書館となるよう、西玄関から入ってすぐの場所に、手に取りやすい雑誌や新聞を配置します。
- 児童書架エリア（絵本・児童書）
 - ・幼児向けの絵本エリアと児童向けの図書エリアを分けて配置しつつ、隣接させることで、成長に合わせた利用の移行もしやすい計画とします。

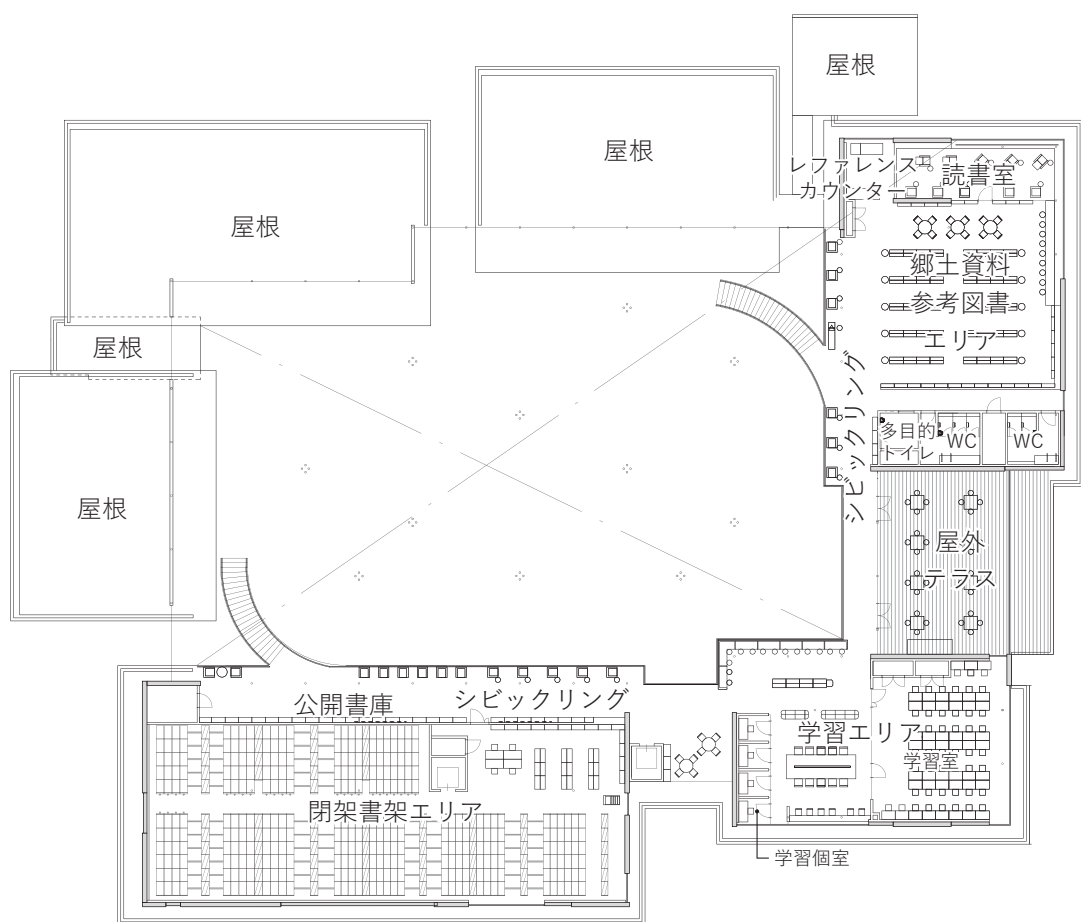
□2階

- 郷土資料・参考図書エリア
 - ・落ち着いた空間のなかで、郷土に関する資料や参考図書を使った調べものができるスペースを整備します。
- 読書室
 - ・特に静かな環境下で落ち着いて本読みたい方のための部屋を整備します。
- 学習エリア
 - ・オープンな学習席に加え、静かな環境で学習ができる学習席や個人で利用できる学習個室など、様々な学習スペースを整備します。
- 公開書庫
 - ・吹抜けを介して見える位置に壁面書架を設け、図書館に入った時から、図書館が所蔵する沢山の資料を目にすることで、その世界観を感じることができる計画とします。
- 絵本エリア内には、靴を脱いで利用できる小上がりやおはなし会を開催できる「おはなしのへや」を配置します。
- ・絵本エリアと児童図書エリアの間に屋外に出られるテラスを設けます。
- 飲食・休憩エリア
 - ・公園ひろばに面した明るく開放的な環境で、飲食ができるスペースを計画します。
- ティーンズエリア
 - ・ティーンズ向けのエリアにグループ学習室やボックス席を設け、ティーンズが安心して利用できる空間を整備します。
- 管理エリア
 - ・施設のどこからでも見えやすい位置に総合カウンターを設け、利用者がアクセスしやすい環境を整えます。
 - ・図書館ボランティアの方の打ち合わせなどに利用できる部屋や自分自身で予約本を受け取れる予約本コーナーを整備します。

- 郷土資料・参考図書エリア
 - ・落ち着いた空間のなかで、郷土に関する資料や参考図書を使った調べものができるスペースを整備します。
- 読書室
 - ・特に静かな環境下で落ち着いて本読みたい方のための部屋を整備します。
- 学習エリア
 - ・オープンな学習席に加え、静かな環境で学習ができる学習席や個人で利用できる学習個室など、様々な学習スペースを整備します。
- 公開書庫
 - ・吹抜けを介して見える位置に壁面書架を設け、図書館に入った時から、図書館が所蔵する沢山の資料を目にすることで、その世界観を感じることができる計画とします。



1階



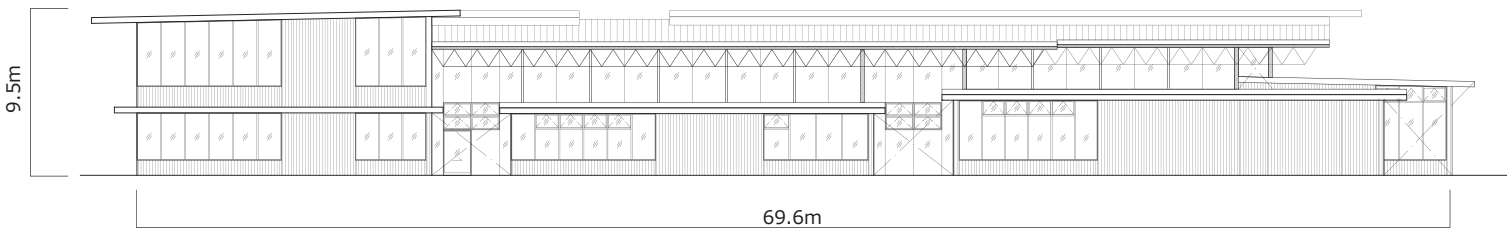
2階

■立面計画

□外観

- ・建物の色合いやデザインは、公園内の緑など、周辺の景観に調和した計画とします。
- ・外壁の一部をリブ形状とすることで、周辺環境に馴染み、上質感も感じられる計画とします。
- ・熱効率や整備コスト、資料の日焼けなどを考慮し、日射負荷が高い南側・西側は壁面を主体とし、日射負荷が低く、公園への景観が望める北側・東側はガラス面を主体とした計画とします。

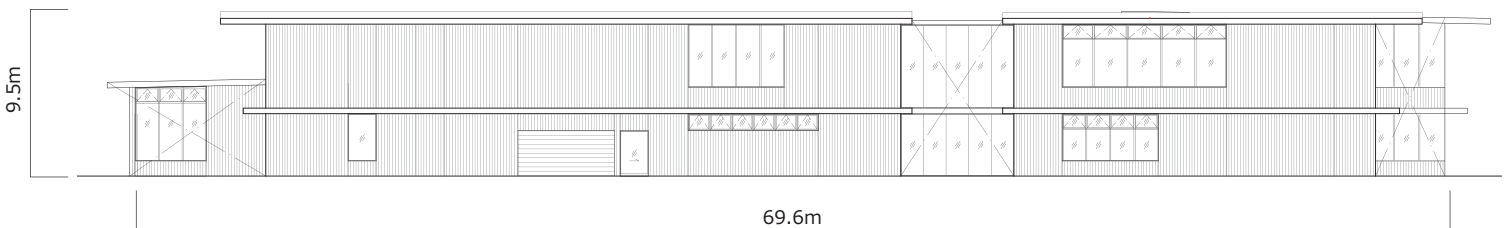
□立面イメージ



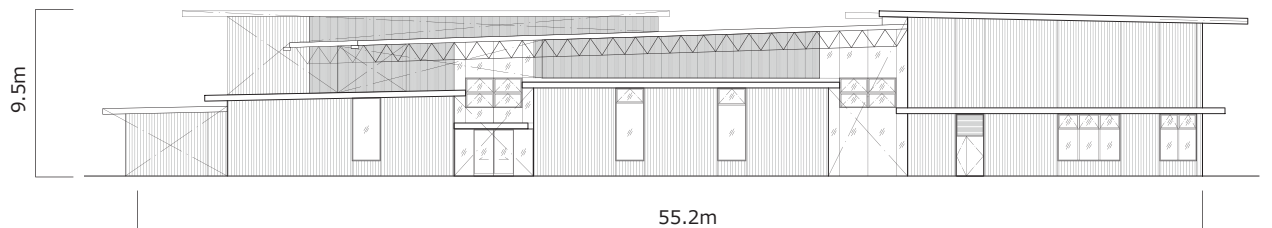
北立面図



東立面図



南立面図



西立面図

立面図 1/400

■環境計画・ユニバーサル計画

□環境計画

- ・高断熱化、高効率機器の採用等により省エネ化を図り、ZEB Ready（基準値に対する1次エネルギー消費量の削減率 50%以上）の認証を取得します。
- ・外壁や窓、屋根は、高断熱化により高い外皮性能を確保するとともに、庇による日射遮蔽を行い、室内への日射負荷を低減します。
- ・自然採光をなるべく取り入れつつ、照明は LED 照明を採用し、消費電力を削減します。
- ・個別空調と放射冷暖房を効率よく併用した空調計画とすることで、省エネ化を図ります。

□ユニバーサル計画

- ・年齢、性別、障がいの有無などに関わらず安全に利用できるよう、バリアフリーやユニバーサルデザインに配慮した計画とします。
- ・だれもが利用しやすく、わかりやすい、シンプルな動線計画とします。
- ・授乳室や親子トイレ、ベビーカー置場などを設け、親子連れも利用しやすい計画とします。
- ・オストメイト対応の多目的トイレや車椅子使用者対応のエレベーターなどを整備します。
- ・車椅子使用者駐車場から玄関まで屋根を設け、車椅子を使用する方などが雨天時も利用しやすい計画とします。

■外構計画

□駐車場・駐輪場

- ・敷地南側に約 120 台の駐車場を、既存の東石川第4公園駐車場と一体で整備します。
- ・駐車場は入口と出口を分け、駐車場内は原則、一方通行となる計画とします。
- ・敷地西側（まちかど広場側）に約 80 台の駐輪場を整備します。
- ・駐車場と外周道路との間に、3.5 m 程度の広さの歩行者空間を整備できる計画とします。

□園路

- ・駐車場と図書館建屋の間に東西につながる通路を整備します。
- ・駐車場から公園ひろばを通り北側へ通り抜ける園路を整備します。
- ・野球グラウンドと図書館建屋の間に既存樹木の間を抜ける小道を新たに整備します。

□植栽

- ・公園の既存樹木（クス、ケヤキ、シラカシ、トウカエデ）を活かすとともに、常緑樹・落葉樹をバランスよく配置し、四季を感じられる植栽計画とします。
- ・ひたちなか市の気候・風土に適した樹種を、維持管理コストも考慮し、選定します。

□舗装

- ・広場や園路は歩きやすく、色合いや素材など周辺の景観に馴染む計画とします。
- ・駐車場は耐久性があり、透水性を確保できる舗装とします。

■工事費概算

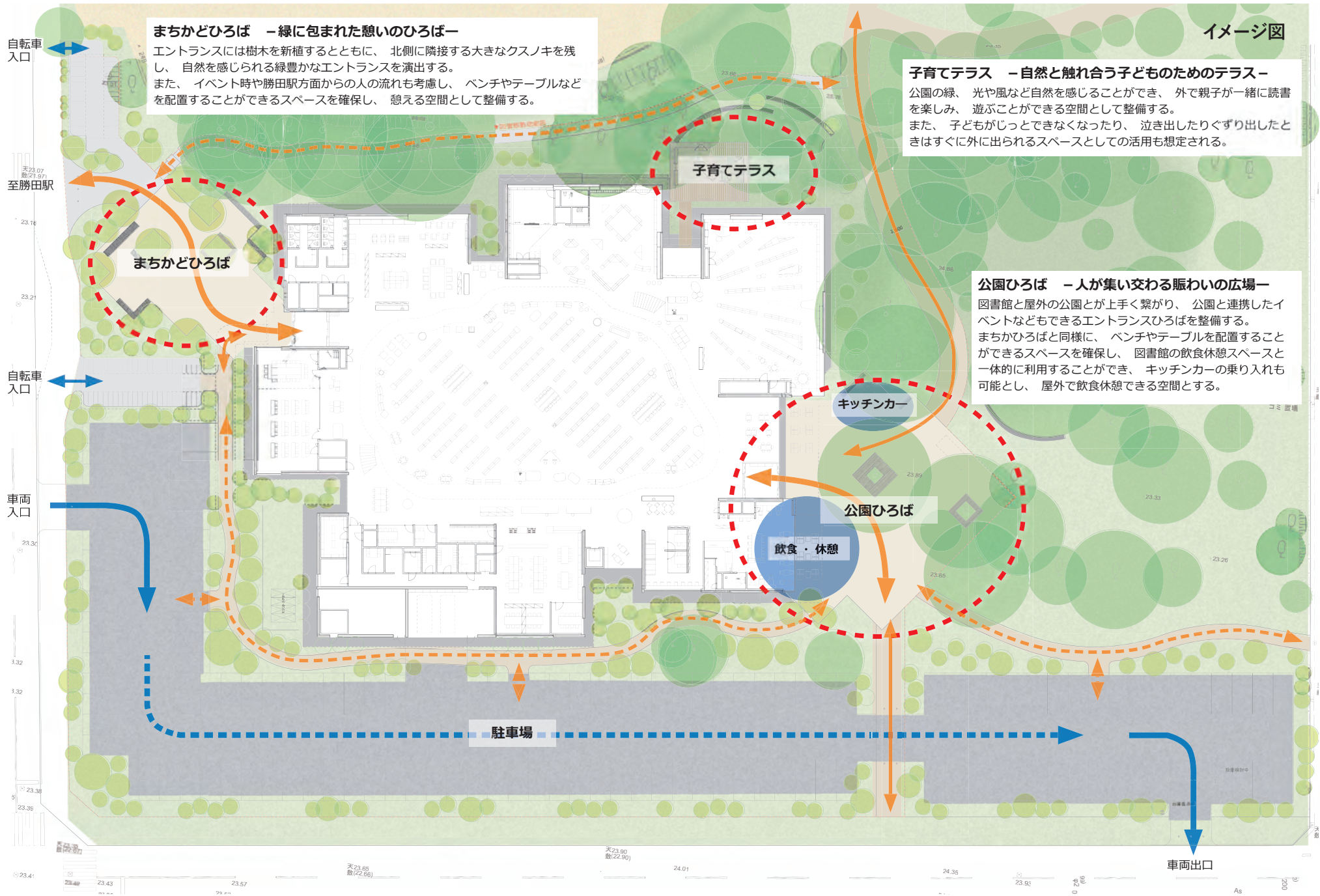
本 体 工 事 費	：4,174 百万円
外 構 工 事 費	： 356 百万円
合 計	： 4,530 百万円

本体工事費…建築、電気設備、機械設備、家具什器 等

外構工事費…駐車場、駐輪場、広場、園路等

※別途工事

- ・造成
- ・近隣対策
- ・各種インフラ引込負担金
- ・LAN 機器
- ・既存物移設
- ・消火器本体
- ・地中障害撤去
- ・土壌汚染調査および撤去
- ・OA 機器
- ・図書館システム（ICT 設備等）
- ・機械警備
- ・AED 本体 など



配置図 1/600

資料3

令和7年9月16日

文教福祉委員会所管事項説明資料

教育委員会中央図書館

意見の概要と市の考え方

提出 番号	意見 番号	意見の概要	市の考え方
1	1	各エリアを半独立の建物としつつ、大屋根を支える構造にすることで、一般書架をワンルームとする設計は、建築コストを抑えつつ、目的を達成できる優れた基本設計であると感心した。また、これまでのパブリックレビューで出た良い意見も取り入れられており、優れた基本計画であると思った。	今後も整備コストにも配慮しつつ、これまで多くの皆さまからいただいたご意見、ご提案を踏まえながら、引き続き、設計を進めてまいります。
	2	中央一般書架エリアの金属屋根の下側はいわゆる天井板が取り付けられた二重構造か。それとも、金属屋根がそのまま天井となる構造か。仮に、後者とする場合、雨天時には雨音が室内に響きかなり騒がしくなる心配がある。図書館とは、基本、静かな所であると思うので、悪天時の音に対して配慮した設計であることを期待したい。	一般書架エリアの屋根は、金属屋根の下に天井板を設置した二重構造としており、雨天時も快適に利用できるよう、遮音対策を行っております。
	3	2階の学習エリアの南側に窓があり、窓に沿って学習机が並んだ配置になっていると理解した。南側には駐車場があり、植栽も予定していることで、近隣へ配慮した設計としたことは理解できるが、近隣マンションのプライバシー確保のためには、詳細設計において、学習エリアからの視線が届かないような配慮を一段と踏み込んで検討願いたい。例えば、窓をスモークガラス（例：すりガラス）にして採光に特化した窓としたり、高窓に変更して視野にマンションが入らないようにする方法も候補だと考える。	2階の学習エリア南側の窓については、窓の高さ、ガラスの仕様（すりガラス等）、植樹の高さ、カーテンやブラインドの設置などを総合的に考え、近隣住民のプライバシーに配慮した設計となるよう、検討を進めてまいります。
	4	屋外テラスから公園の樹木を眺められる設計は良いと思う。さらに言えば、日差しの強い時期でも、テラスのテーブルが利用できるよう、日除けを配置するような設計を加えることは可能か。	屋外テラスには日差しが強い日などでも快適に利用していただけるよう、一部に庇を設けております。

	5	図書館の本の紛失対策となる図書館システムとなるか。コストとの兼ね合いもあるが。ＩＣタグを利用して、本の入館・出館を管理し、カウンターを回っていない本を警告する仕組みもあるかと思う。	資料の不正持ち出しの防止や利用者の利便性向上を図るため、ＩＣタグを利用した所蔵資料の管理システムの導入を予定しております。
2	6	新中央図書館は駅から離れた場所になるので、車を運転しない人が利用できるようにスマイルバスの経路の検討や停留所の新設をしてもらいたい。	新中央図書館へのスマイルあおぞらバスでのアクセスについては、バス停の設置等について、関係機関と連携して検討を進めております。
3	7	公園ひろば、東石川第４公園について、現状よりも小さい子供も遊べる遊具を充実させて、公園と図書館が一体になった家族の居場所となるような場所にしてほしい。	図書館の東玄関前に整備する公園ひろばを含む、東石川第４公園全体の整備に関するご意見として、参考とさせていただきます。
	8	児童書エリアに、小さい子どもが地べたに座ったり、寝転んで本が読めるような、クッションや絨毯をひいたスペースを充実させてほしい。	児童エリアに、靴を脱いで利用できるスペースを設けております。床材の仕様などについては、親子連れや子どもが利用しやすいスペースとなるよう、検討を進めてまいります。
	9	自習スペースを、多目的エリア等のデスクとは別に設置してほしい。	多目的エリア等のデスクとは別に、２階の学習エリア内に学習室や学習個室などを設けております。
4	10	太陽光パネル設置について、予算が限られているのであれば、今回の工事では、太陽光発電パネルを屋上に設置できるように屋根強度を設計しておけば、二期工事で太陽光パネルを設置することも可能かと思う。平時には、電力を空調や照明の電気として使用すれば図書館の経費削減ができる。また、バッテリーを併設すれば、災害時の非常電源としても活用できる。	建屋の中央部の屋根は一定の強度を有しており、太陽光パネルを設置することとなった場合でも対応が可能な構造としております。
	11	地下水を、平時にはトイレ用水などの中水として、災害時には市民生活を維持するための井戸水として利用してはどうか。	地下水については、整備コストの観点から、現時点で整備することは予定しておりません。 なお、市として災害時における生活水の維持に関しては、各小学校に井戸の設置を行っております。
5	12	駐車場計画について、周辺道路の交通渋滞については交通事故の発生を懸念している。特に駐車場の車両入口付近で、右折で入場する車両による混雑を心配している。（直進車両が進めずに詰まってしまう）	交通事故及び交通渋滞対策に関しては、車両動線が交錯しないよう、図書館駐車場へは東石川第４公園の西側道路より進入し、南側道路に退出する一方通行とすると共に、駐車場入口には入場ゲートを設けない計画とすることで、比較的スムーズに入場が行われるものと考えて

		対策として道路に「右折入場レーンを新設」もしくは「道路幅員の拡幅」を検討してはどうか。	おります。右折レーンの新設や道路の拡幅は、幅員や敷地に余裕がないため、対応が困難とも考えておりますが、開館後の状況を踏まえて適切な対応を検討してまいります。
6	13	一般開架スペースが十分に広い場合は問題ないが、もし現在のように古い図書が閉架スペースに保管されるのであれば、一般利用者もそこに立ち入りできるようにしてほしい。パソコンでの蔵書検索が苦手な方も一定数いる。	今回の計画では、現在の中央図書館と比べて、開架書架エリアの面積は約2.5倍、書架棚数でも約1.5倍に増える計画となっています。 なお、閉架書庫への利用者の立入りは想定しておりませんが、閉架書庫の資料も今まで以上に分かりやすい検索方法やご案内の仕組みを検討してまいります。
7	14	床をカーペットにする（現在の中央図書館のように床が木製だと足音を気にしてしまうため）	エリアごとの使われ方やそれに伴い発生する音などを想定しつつ、コストやメンテナンス性、衛生性などを総合的に勘案しながら、適切な床面の素材を選定してまいります。
	15	カゴが欲しい（持ち歩いて次の本を探すときに手がふさがって探しにくい）	利用者用カートなどを配備する予定でおります。
8	16	新中央図書館には飲食可能な空間ができるようだが、ぜひ、市内のお店が営むカフェ（飲み物程度）を入れていただきたい。 イベント時はキッチンカーなど出店するようだが、いつも同じ場所に同じ落ち着ける空間が存在すれば、市民の皆さんにも安心して通っていただけたらと思う。 お茶を飲むために行く図書館でもいいと思う。 とにかく、沢山の方々に利用していただける新感覚の図書館を作り上げていただきたいと思う。	飲食休憩スペースについては、今後、民間事業者の方々のご意見等も聞きながら、魅力的で、多くの方が利用しやすい空間となるよう検討を進めてまいります。キッチンカーに関するご意見も合わせて、今後の検討における参考とさせていただきます。
9	17	プロポーザルで提案されていた天井のルーバーはなくなったのか？基本設計概要版で公開されているパースをみると、なくなっているように見える。また、そのことで館内が無機質で冷たく感じられる。プロポーザルの時にはもっと温かみのあるわくわくする図書館の印象があった。コストなどの兼ね合いと思うが、他の方法でもよいのでもっとワクワクが感じられる内装になって欲しい。	コストの削減や地震時の天井材の落下防止などの観点から、天井のルーバーは中止いたしました。利用者の手が触れる書棚や家具などに木材を利用したり、館内の色や照明を工夫したりすることで、館内に温かみを出せるよう検討を進めてまいります。また、シビックリングでの展示やイベント等を工夫することで、わくわく感のある図書館となるよう、検討を進めてまいります。

18	<p>どうして児童書架は絵本と児童図書が分かれているのか？絵本と児童図書が離れていると、兄弟で連れて行ったときに非常に使いにくい。目が行き届きにくくなる。間に子育てテラスがあるが、これは必要なのか。小さな子がぐずったときに出られるようにかもしれないが、ここまで盛大なテラスは不要と思う。周辺は公園なので、出入口から公園に出てで十分に思う。何かこども向けのイベントがある場合でも、公園を活用した方がずっと面白くなると思う。</p>	<p>児童書架を利用する年代としては、乳幼児から小中学生と幅広く、体格差も大きいことから、様々な年齢の子どもやその保護者が安心して利用できるよう、乳幼児と児童のエリアで大きく2つに分けつつ、隣接させることにより、緩やかに繋がった配置といたしました。また、保護者の目が届きやすいよう、それぞれのエリアの書架の高さや並び方を工夫いたしました。「子育てテラス」については、子ども向けエリアに隣接して設置することで、小さな子がぐずった時にさっと利用できたり、館内からのみ利用できるテラスとすることで、親子が安心して利用できる場所となるよう計画いたしました。</p>
19	<p>レファレンスカウンターがなぜ二階の奥まったところなのか。図書館サービスにおいてレファレンスは重要なサービス。その重要性が知られていないことが残念だが、ネットで不確かな情報が飛び交う今、リアルな環境で調べものを助けてもらえることはこの先も重要なことだと思う。また、それらを子どもたちにぜひ知ってもらいたいと思う。主体性の学びを重要視している現代だからこそ、レファレンスサービスを主軸に置いた図書館サービスが展開されても良いのではないか？</p>	<p>市としても、レファレンスサービスの重要性は認識しております。レファレンスの相談で最も多いのが郷土資料に関するお問い合わせです。このため、郷土資料をすぐに見つけて、資料をご覧いただきながら落ち着いてサービスを提供できるよう、レファレンスカウンターを郷土資料・参考図書コーナー内に配置いたしました。</p> <p>また、1階の総合カウンターや児童カウンターなどでも、お問い合わせやご相談に対応させていただく想定をしており、利用者の方がいつでも気軽にご利用いただけるレファレンスサービスの提供ができるよう努めてまいります。</p>
20	<p>外壁の凸凹が多く、公園からしてみると、死角が多くなったように感じられる。内側からの使い勝手やコンセプトは理解したが、外側からみて、公園に立つ施設としては死角が多いように感じる。休館日や夜間など、不審者が隠れやすいのではないか。</p> <p>また、凸凹が多い建物だと必然的に外壁が多くなり、コスト増だと思う。</p>	<p>図書館の周囲に外灯を設置したり、出入口付近に監視カメラを配置するなど、夜間や閉館日の安全性にも配慮した計画となるよう、検討を進めてまいります。</p>
21	<p>ひたちなか市民待望の図書館である。近年図書館は良いものが出来ると県外からも視察に訪れるほど、注目される公共施設である。そういった意味でも、ひたちなか市をPRする大切な施設。そこには見ただけで、入っただけでこれぞひたちなか！と思わせる何かがあると、ひ</p>	<p>新中央図書館に新たに整備するシビックリングは、ひたちなか市に関する情報発信や市ならではの様々な展示などもできる回遊空間として整備いたします。</p>

		<p>たちなか市民としても誇らしい。ぜひ、この機会にひたちなからしさが表現されるものが欲しい。</p>	<p>来館者の方が館内に入っすぐ、シビックリングにて市の様々なことを知ることができ、市の魅力に出会えるような展示内容等の充実を図ってまいります。</p>
	22	<p>開館後シビックリングを上手く運用して欲しい。せっかくのシビックリングだが、運営される方に意図が伝わっていないと何にもならない。開館後の運用まで、しっかりと視野に入れて、有効に活用して欲しいと思う。是非、ひたちなか市に住んでいてよかったなと思わせる図書館をつくっていただきたい。</p>	<p>シビックリングについては、図書館や庁内の様々な部署、関係団体、さらに市民や地元企業の皆さまにもご協力をいただくことで、より魅力的な空間となるよう目指してまいります。これまでのワークショップ等でいただいたご意見なども参考とさせていただきながら、開館後のシビックリングの運用について、今後さらに検討を進めてまいります。</p>
10	23	<p>本の日焼け対策として、南側と西側の広いガラス窓はやめてほしい。</p>	<p>資料の日焼けなどを考慮し、日射負荷が高い南側と西側は壁面を主体とし、日射負荷が低く、公園の景観が望める北側と東側はガラス面を主体としております。</p> <p>この他にも、窓上に軒の深い庇を設けたり、ロールスクリーンやカーテンを設置するなどの日射対策を行ってまいります。</p>
	24	<p>本が10冊入り、紙芝居なども入るカートがほしい。</p>	<p>利用者用カートなどを配備する予定でおります。</p>
	25	<p>雨の日は、建物から駐車場寄りにひさしがほしい。</p>	<p>西側に整備するおもしろい駐車場から西玄関までの間には屋根を設けています。また、東側の出入口については、屋根付きのピロティを一定程度設けております。</p>
	26	<p>読み聞かせ・本の修理・環境整備などを行うボランティアのためのボランティア室に、10人分くらいのロッカーと水道がほしい。</p>	<p>ボランティア室内の備品の設置については、スペース等も考慮して、今後、検討を進めていく予定です。いただいたご意見は検討の際の参考とさせていただきます。</p> <p>なお、水道については、現時点では、トイレや管理エリア内に設置される洗面台をご利用いただく想定で検討をしております。</p>
	27	<p>カーテンシアター、イベントの飾り、材料・用具などを収納するため、ボランティア室の隣には倉庫がほしい。</p>	<p>ボランティア室脇に倉庫を設ける計画としています。</p>
	28	<p>コロナ禍の経験を踏まえて、窓や換気扇を設置してほしい。</p>	<p>自然換気が可能な換気窓も設けております。また、窓を閉じた状態でも十分な換気ができる空調設備を計画しています。</p>

	29	高校生をもっと巻き込んだ取り組みをしてほしい。	新中央図書館整備に関しては、これまでも市内の高校生等の学生から、ヒヤリングやアンケートなどをとおして、ご意見やアイデアをいただきながら進めてまいりました。今後も機会を捉えて、若い世代の方々からのご意見もいただきながら、新中央図書館の整備及び運営に関しての検討を進めてまいります。
	30	施設北側に窓を設置する、出入口に前室を設置する、トイレ照明に人感センサーを設置するなど、光熱費の無駄を減らす取り組みをしてほしい。	館内の採光を考慮して北側には窓を多く設け、東西の両出入口には風除室を設けています。照明については、トイレ等には人感センサーによる照明を採用するなど、光熱費の縮減にも努めてまいります。
	31	ボランティアや工作講座による手作り感のある飾りをしてほしい。	開館時やその後の運営における館内装飾を検討する際の参考とさせていただきます。
11	32	現代の図書館には従来の機能に加え、街に人を集める役割も求められており、設計は難しい面があると思う。設計者には、図書館らしい知的な雰囲気を保ちつつ、家族に誇れるおしゃれで好奇心を引く建物を自由に創ってほしいと願っている。	多くの市民の皆さまに利用していただき、愛着を持っていただける施設となるよう、引き続き、設計を進めてまいります。
	33	基本設計の特徴や市民として誇りに思える点が明確でない。特に「緑豊かな公園と一体」という表現は他の市でもありふれており、響きに欠ける。市内には既に多くの緑や公園があるため、「緑が豊か」だけでは魅力を感じにくい。もし本当に重要なポイントなら、「緑との一体感をこれまでにないレベルで高めた斬新な設計」など、もっと具体的かつインパクトのある説明が必要。基本設計のどこをどう工夫したから上記の主張ができるのか、具体的に分かりやすく説明して頂きたい。そうすることで、市民が誇りを持ち友人に自慢できる図書館になると期待できる。	<p>公園の緑との調和に関して、以下の点を配慮した計画としました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建物の外形を雁行形状とさせることで、周囲の緑との接点を増やしました。 ・3Dシミュレーションを利用し、館内からの視線の抜けを確認し、周囲の緑が効果的に感じられる位置に窓を配置しました。 ・コンクリートの外壁の一部に樹木を型枠として使用し、木目調のデザインとする検討をしています。

34	<p>新中央図書館の内外装デザインは「緑豊かな公園との一体感」が十分に反映されていない。建物内部は普通の図書館のようで、海辺にあって違和感がない印象である。公園との一体感を出すには、木材や自然素材を全体的に増やし、手に触れる場所や目に入りやすい部分に取り入れて、高原の別荘のような雰囲気を作るべきだ。コストは大きく増えないはずで、豪華さは求めず質素で十分である。特に子供が裸足で過ごせる場所には木材を多用し、和風の意匠を取り入れることが文化的・教育的に重要で、地域の伝統建築の要素を取り入れることも望ましい。外装については、アルミやコンクリートの白っぽい色が緑に調和しているとは言い難く、こげ茶色の木材の方が馴染むのではないか。材質や色の選定は実施設計でしっかり検討してほしい。また、トイレのデザインにも注力し、緑と調和した上品な意匠を取り入れるべきで、特に女性用トイレは女性設計士の参加を提案したい。良いトイレは建物の質を象徴すると考える。</p>	<p>公園の緑との調和に関しては、前項をご参照ください。</p> <p>内装材の木材利用については、コスト面を踏まえ、全面的に木材を利用するのではなく、書架や家具など、利用者が手に触れる部分に優先的に採用するなど、メリハリを付けた検討を進めてまいります。</p> <p>なお、今回の設計には女性の設計士も携わっており、また、これまでにいただいた市民の皆さまからのご意見には、女性の方からのご意見も多く含まれております。トイレだけでなく、施設の設計全般において、女性の視点やご意見なども適切に反映できるよう努めております。</p>
35	<p>新中央図書館の建物形状の複雑さや大きなガラス面積から、将来的なメンテナンス費用やエネルギー費用が過大にならないか懸念がある。今後 50 年間の修繕・更新費用、ガラス清掃の月間コスト、年間の電気代（ピーク電力を含む）について定量的な説明を求めるとともに、費用を抑えるための工夫を明示してほしい。特に電力消費は今後厳しくなるため、国の基準を満たすだけでなく、余裕を持ち現在の半分以下を目指す設計が望ましい。夏季の冷房ピークは太陽光発電と重なるため大きな問題ではないが、冬季の朝の暖房による電力ピークが電力供給を逼迫し基本料金増加の原因となるため、これを抑える工夫が重要である。ひたちなか市は北西の山がなく北風が直接あたるため冬季の冷え込み対策が必要で、職員や来館者に負担をかけない設計を期待する。</p>	<p>費用を抑えるための工夫につきましては、空調設備など高効率な省エネ機器を導入するほか、建物の高断熱化を図ることや効率的な照明計画とすることなどにより、ZEB Ready を達成し、消費エネルギーを従来の 1/2 以下に削減できる計画としております。このほか、メンテナンスの手間が少なく耐久性の高い部材や機器の採用を検討してきております。</p> <p>電気代や修繕更新費用などについては、導入する設備機器等の製品が具体的に決まっていないことから、現時点では、具体的な金額を算定できるまでの状況には至っておりません。</p> <p>引き続きイニシャル及びランニングコストに配慮した設計を進めてまいります。</p>

36	各都市の図書館に求められる様々な仕様、要望、条件が全く同じものがない以上、優先度を付けながら細部まで突き詰めて考えれば、最善と思われる建物は自ずと個性的になると考える。「緑豊かな公園と一体」という特徴も突き詰めれば独自性が出るはずで、無個性な建物は誰にも文句を言われぬよう主張がなく無難にまとめられたものだと言える。一般の素人の意見に左右されすぎず、建築家は自らの良心と信念に基づき、今後 50 年使う最善の解を示し、わかりやすく説明することで、本当に良い建物ができるだろう。	個性や独自性については、建物だけでなく、シビックリングの運用など、運営面も含めた図書館全体でひたちなか市らしい図書館を目指してまいります。 いただいたご意見は、今後設計を進めていくにあたっての参考とさせていただきます。
37	ひたちなか市周辺の地域性を建築にどう表現するかは難しい問題だが、大洗の某宿泊施設の事例が参考になると思う。オーナーは地域の個性を重視し、自ら全国や海外を調査して地元設計会社と連携し、地域らしさを建物に反映させた結果、高い評価とリピート率を得ている。設計者自身が地域に魅力を感じ、実際に現地で深く体験・調査することが重要であり、市民の意見だけでなく、地域に浸かることが必要だ。ひたちなか市の魅力を建築に反映するためには、表面的な議論を超えた実地調査や地域理解が求められる。	いただいたご意見は、今後設計を進めていくにあたっての参考とさせていただきます。
38	図書館は知的な文化施設である以上、機能性を重視しつつも、美しさもある程度以上のレベルであるべき。特に中央図書館は、子供向けの可愛い建物や奇抜なデザインではなく、正統派の美しさが求められるべきである。設計者の美意識が一部にはエゴと取られる可能性があるが、それでも機能性だけでなく美しさを追求してほしい。現図書館にも古さの中に工夫が見られ、愛着を持つ市民もいる。美しさの感覚は人によって違うが、何かを創る人は与えられた条件のもと自身の考えるベストの美しさを追求すべきと考えている。子供時代に見た建築物はその後の美意識に影響を与えるため、図書館建築は未来の街並みにも関わる重要な仕事である。単に機能を満たすだけでなく、個性や地域性、美しさを兼ね備えた設計が望まれる。	ご意見にもあるとおり、デザイン上の美しさについては、個人の感覚に基づくものも多く、画一的な判断をすることは難しい内容であると認識しております。 今後もコストやデザイン性も精査しつつ、多くの方に利用していただき、愛着を持っていただける施設となるよう検討を進めてまいります。

	39	建物の内外観の仕上げ（「お化粧」）は、人がその場所に行きたいかどうかに関与する重要な要素である。特にこれからは、本を借りない来館者が増えることを考慮し、「緑豊かな公園と一体」というコンセプトにふさわしい素材や色彩で細部まで丁寧に仕上げたい。	市としましても、建物の仕上げは重要であると認識しております。コスト面も踏まえつつ、今後、設計を進めていく上での参考とさせていただきます。
12	40	図書館ができることで周辺道路の交通量が増えることが予想されるため、①市営プール南②石川町グラウンド南③第4公園野球場西の3カ所の既設信号機を音響式信号機にしてほしい。	音響式信号の設置についての要望として、所管する警察署に伝えるようにいたします。
13	41	本棚に余裕があれば、一番下の棚には本を置かないでほしい。高齢者は膝や腰が悪く、屈めないため。	蔵書数を確保した中で、可能な限り、多くの利用者が資料を手に取りやすい配架となるようにいたします。
	42	本を並べた際、作者名のところにシールをはると作者名がみえなくなるので、小さなものを貼ってほしい。近隣市の図書館の本は下の方に小さくシールが貼ってあり、名前は隠されていない。	今後の管理運営の検討の際の参考とさせていただきます。
	43	DVDを借りた時、別のケースに入れかえているが、DVDそのもののケースにしてほしい。そのDVDについていろいろ説明が書かれているため。	現在、中央図書館での貸出の際は、DVDを購入した際のケースのまま貸出しています。新中央図書館においても同様とする予定です。
14	44	<p>建築費について、床面積4,500m²に対して41億円との記載で、単位床面積（m²）当たり91万円となる。物価、人件費の高騰に起因すると推測されるが、高すぎないか？</p> <p>他自治体の事例では9,000m²で約69億円（建設費とZEB費用）なので、77万円/m²になる。本市ではこの約2割高である。高騰が急速に進んでいるとはいえ、高すぎる印象は否定できない。新技術：材料、例えば「CLT構法」や「再生建材」などの採用を検討するとともに、メリハリとバランスの適正化を望む。</p>	<p>ご提示いただいた事例については、整備の内容や建設場所、整備手法、試算時期、建築費に含まれる項目などに差異があり、このまま単純に比較することは難しいと考えております。</p> <p>基本設計案においては、より良い空間構成や諸室の配置を実現する建物とするため、最適な工法、構造となるよう、木造（CLT工法による施工を含む）も含む様々な検討を行ってまいりました。建屋の強度や空間構成を維持しつつ、基礎や天井の構造を最適化することで使用する資材の量を抑えたり、使用資材の多くを標準品とするなど、コスト削減に関しても設計上の工夫を行っております。</p> <p>昨今の物価上昇の局面の中、今後の実施設計においても、引き続きコスト意識を高く持って、設計に取り組んでまいります。</p>

45	<p>建設に当たって、政府補助金の導入は検討されているのか？ 以下のような助成事業が候補となる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境省「建築物等の ZEB 化・省 CO2 化普及加速事業」 ・経済産業省「ネット・ゼロ・エネルギー・ビル（ZEB）実証事業」 ・国土交通省「サステナブル建築物等先導事業（省 CO2 先導型）」 ・同「優良建築物等整備事業」 ・同「建築物耐震対策緊急促進事業」 <p>これらの中では、特に環境省の事業が最も有力な助成事業と考えられる。詳細な情報や最新の公募要領については、各省庁のウェブサイトをご確認いただきたい。</p>	<p>建設にあたって、様々な国庫補助金を検討した結果、「都市構造再編集集中支援事業」（国土交通省所管）を活用する予定です。</p>
46	<p>基本設計では RC 造になっているが、「心地よい緑との一体感」を狙う本建造物なので、「木造」の採用がより適切であると考ええる。全面的適用でなく、RC 造と木造のハイブリッド構造が合理的と考えられる。木造の質感は、利用者の快適さ、安らぎといった図書館の魅力に寄与すると期待できる。</p>	<p>建屋の木造化については、館内の空間構成（木造にすることで、柱が増えたり、太くなることで館内の視認性や開放感が落ちる懸念など）や耐火建築物とするための不燃処理にかかるコスト等を総合的に検討した結果、現計画の鉄筋コンクリート、一部、鉄骨造を採用いたしました。</p> <p>ご意見にもいただいたとおり、木質感は利用者の快適性や、安らぎの創出に寄与すると考え、利用者が手に触れる書架や家具に木材を使用することを検討しております。</p>
47	<p>1 階（シビックリング）は児童書エリアや飲食・休憩エリアといった賑わいのあるスペース、2 階は郷土資料・レファレンス、閲覧室、学習室など、より静かな環境が必要なスペースとして使い分けされている基本設計は良いと思う。ただ、中央をワンルーム空間とすること、1 階と 2 階とを階段で結ぶ吹き抜け構造としている点は、開放性や見通しをよくするとしていますが、構造的にコストがかかる上、空調も大掛かりになるので費用が増大する。見栄えの良さ、デザイン性より、利用者、管理者のメリットを優先すべきと考える。前述した建設費削減の視点から、この構造を再考してみることを望む。</p>	<p>構造上は、鉄筋コンクリート、一部、鉄骨造を採用することで、合理的な構造計画とし、コストの削減を図りました（コストの観点を踏まえた構造の検討については、意見番号 44 もご参照ください）。</p> <p>また、吹き抜け等の大きな空間の空調については、気積全体ではなく、居住域に限定した空調とすることでコストにも配慮した計画いたしました。</p>

48	従来のCDやDVDだけでなく、電子書籍、オンラインデータベース、デジタルアーカイブなど、様々な形式のデジタル資料が利用できるようにするため、高画質・高音質の再生機器・環境の導入、インタラクティブな学習ツールの活用などへの対応が必要。高精細な映像を映し出すプロジェクターや、臨場感のあるサウンドを提供するオーディオシステム（含遮音構造）など、より質の高い視聴体験の提供、VR（仮想現実）/AR（拡張現実）技術を活用した学習コンテンツなど、参加型の学習をサポートするツールの導入、など盛り込み、「知の創造・体験」の場としての機能が求められる。	デジタル資料については、現在、法情報や地元新聞、経済情報などがご覧いただけるオンラインデータベースや国立国会図書館デジタルコレクションの閲覧サービスを提供しております。新中央図書館においても、今後のさらなるデジタル化などに対応できる環境整備を進めてまいります。 なお、高性能なデジタル機器などについては、コストを踏まえた導入検討を続けると共に、技術革新に応じ、機器の更新が可能な設計としてまいります。
49	家具の配置転換によるイベント対応は盛り込まれているが、将来的な技術や社会の変化に対応できる空間の可変性やインフラの柔軟性（例えば、壁の移動、電源・ネットワークの柔軟な増設など）が設計段階で充分考慮されているか。	天井内に配線のルートを確保するなど、将来の電源やネットワーク回線の増設にも柔軟に対応できるような設計を進めてまいります。
50	「高断熱化、高効率機器の使用等により省エネ化を図り、ZEB Readyの認証を取得する」との記述があるので、様々な省エネ対策が施される計画であることが理解できる。しかし、ZEB Readyは、年間の一次エネルギー消費量を50%以上削減が目標であり、次段階として、Nearly ZEBやZEBというさらなる省エネ、消費エネルギー削減が必要となる。そのため、再生可能エネルギー（創エネ）機器導入に備えておくべきである。具体的には、予め配管ルートや機器設置スペースを確保しておくことが重要。なお、こうした対策のためにも政府助成金の確保を検討しておく必要がある。	建屋の中央部の屋根は一定の強度を有しており、太陽光パネルを設置することとなった場合でも対応が可能な構造としております。 Nearly ZEBやZEBへの対応、政府助成金の活用についてはご意見として今後の参考とさせていただきます。
51	市民ワークショップとの連携をはじめ地域とのつながりに配慮している点は評価できるが、より具体的な計画の深掘り、およびそれを踏まえたハード対策・設計を取り込んでおく必要があると考える。特定の地域産業との連携、起業支援、多文化共生支援など、地域特性を活かしたサービスが考えられる。	市民や地域の方々との連携については、設計などハード整備に関する観点と開館後の運営に関する観点の両面から、検討を進めてまいります。

	52	ランドマークとしてのデザイン性について。建築デザインは公園との調和を重視していて、美しく機能的と評価できる。しかしあえて付け足せば、その建築自体が都市のシンボリック、あるいはランドマーク的存在となり、遠方からも人々を惹きつけるような、より印象的で記憶に残るデザインであることを望む。	建屋の外観は立地する公園や周辺環境に調和した外観とすると共に、勝田駅側と公園側の両方から人を呼び込めるよう、東西に玄関及び広場を設けました。 コスト面も踏まえつつ、皆さまに永く愛着をもってご利用いただける施設となるよう、設計を進めてまいります。
	53	まちなか活性化への貢献について。地域との調和に貢献する建築物なので、勝田駅前から広がる「まちなか」の一角としての役割を果たすことが肝要。アクセスには、自家用車、自転車、徒歩を想定しているように見受けられるが、今後、公共交通ネットワークの整備は重要課題であり、路線バスまたはコミュニティバスの立ち寄りが期待される。そのためのバスへの乗降の利便性、安全性を確保すべく、駐車場・駐輪場レイアウトおよびアクセス通路の工夫を盛り込んでおくべきと考える。	コミュニティバスなど、公共交通を利用して来館する方々も想定して設計を進めております。 バス乗降客の利便性、安全性の観点も踏まえて、駐車場や駐輪場のレイアウト、アクセス通路などについて、検討を進めてまいります。
15	54	隣接自治体の図書館の完全コピーではどうか。費用、工期が低減、短縮できるかと思う。（市内図書館休館日に利用しているが快適。全く問題ない）	新中央図書館の整備にあたっては、本市に必要とされる施設規模や蔵書数を確保すると共に、ひたちなか市にふさわしい、魅力的な図書館を整備することが必要であると考えております。
	55	新中央図書館の新装開店日は遅くとも 2027 年 6 月 1 日としてほしい。涼みどころとしても使用している。新旧図書館両方利用不可期間が 6 月以降となると辛い。	新中央図書館の開館時期については、令和 10 年度中の開館を目指しておりますが、現時点では何月に開館できるかを確定できる段階までには至っておりません。
	56	1 階の一般書架エリアに机付き一人用座席をできるだけ多く用意してほしい。メモをとりながら、本を読む場合が往々にしてあり。	一般書架エリア内のテーブル席については、座席の幅を一定程度取っており、一人でのご利用にも対応しております。また、一般書架エリアの外周部（シビックリング上）には一人掛けでご利用いただけるテーブル席を設ける計画となっております。
	57	1 階一般書架エリアと 2 階学習室（エリア）との間を自由往来（一般図書の持込み）としてほしい。	今後、新中央図書館における館内の利用ルールの検討を行う際の参考とさせていただきます。
	58	屋外エリアの定期的メンテ（まめな）をお願いしたい。（雑草エリアにならないように）	新中央図書館の供用開始後は、屋内外共に適切な管理を行ってまいります。

	59	来館手段が徒歩だけの人のためにあおぞらバスのルートと便数を見直してほしい。	新中央図書館へのスマイルあおぞらバスでのアクセスについては、バス停の設置等について、関係機関と連携して検討を進めております。
	60	独自性、特徴性があるような形はとれないか？（例えば、ある特定分野の本、文献、資料を幅広く、深く収集し全国へアピールし、人を呼び込む 活性化させる）	当市の収集方針では、市民の要望や社会的な動向に十分配慮し、思想的、宗教的、党派的立場にとらわれることなく資料を広く収集することとしております。 新中央図書館では、シビックリングにひたちなかの魅力や様々な情報のほか、時勢に合わせた展示などを行い、独自性や特徴のある配架も行ってみりたいと考えております。
16	61	自転車利用の学生は多いと思われる。駐輪場の拡充を望む。	新中央図書館開館後の自転車での来館者数を予測した上で、約80台分の駐輪場を設ける計画といたしました。
	62	シビックリングの一角に、電子掲示板の導入をお願いしたい。ひたちなか市の郷土資料や情報、イベント案内等、利用者の興味を高める効果が期待できる。	館内に電光掲示板を設置する方針で検討を進めております。
	63	ギャラリーとしても利用できるよう、随所にピクチャーレールを備えてほしい。	館内の展示スペースなどに、ピクチャーレールを設置する計画としています。具体的な設置場所などについて、引き続き、検討を進めてまいります。
	64	父親が幼児を連れての利用が増えている。女子トイレ・男子トイレ共にベビーシートを備えてほしい。	男女両方のトイレにベビーチェアを備えた個室を設ける計画としています。また、児童書架エリア内に男女共に利用できる親子トイレを設ける計画となっており、親子トイレと各階の多目的トイレにベビーシートを設ける予定です。
	65	調乳室・授乳室は、父親も利用しやすいように、案内を工夫されたい。	調乳室については、性別に関わらずご利用いただける運用ルールとし、男性も利用しやすい表示などについても検討してまいります。また、授乳室についても、同様の運用ルールを検討してまいります。
	66	図書館の活性化に市民の力を役立てるには、ボランティアや市民活動等で利用できる場所が多く必要となる。ボランティア室・多目的室以外にもフレキシブルに使用できる場所を設けてほしい。	ボランティア室や多目的室以外にも、シビックリング上のオープンスペースやお話しの部屋、子育てテラスなど様々な場所で活動していただくことも想定しております。活動が他の利用者の方にも見えることで、その活動が多くの方に波及していくことも効果として期待しています。

	67	カフェについて、有名なカフェ専門店は、集客効果はあるかもしれないが、手頃な価格で利用出来る飲み物の自動販売機(砂糖, ミルクの量, 濃さが調節できるレギュラーコーヒーの他何種類もの飲み物が提供できる販売機)の設置, 又は, 障がい者が働くカフェを希望する。	飲食休憩スペースについては、今後、民間事業者の方々のご意見等も聞きながら、魅力的で、多くの方が利用しやすいスペースとなるよう検討を進めてまいります。この度のご意見は、今後の検討における参考とさせていただきます。
	68	視覚障がい者へのリーディングサービス（対面朗読も含めて）を、図書館で気軽にできるように整備していただきたい。加齢による視覚障がいも含めて、もっと障がい者への読書環境を考慮してほしい。現在ひたちなか市社会福祉センターで活動しておりますが、公共図書館でもそのようなコーナーやお部屋、サービスがあれば良いと思う。	視覚障害をはじめ、読書に何かしらの支援が必要な方が気軽に使える部屋として「読書支援室」を設けます。対面朗読などはこちらの部屋でご利用いただくことができます。
	69	これからますます温暖化が顕著になる中、給水コーナーの設置は必須だと感じた。（県内の他自体の生涯学習センターでは要所要所に給水設備があり、ポットに、水を補給できるようになっていたかと思う）	館内に給水機を設置する方向で検討を進めております。
	70	トイレのスペースに、ある程度余裕をもたせてほしい。バックなどの荷物をおく場所をとってほしい。ドアの内側にフックを付けるやり方は止めてほしい。	適切な広さを確保すると共に、荷物置場を設置するなど、利用しやすいトイレとなるよう検討を進めてまいります。
	71	基本設計図書を拝見すると、ワークショップで市民から出された提案が多数入っている。提案を実践するためのボランティアの募集、40万冊の蔵書内容を精査した資料の整備、レファレンスや読書相談に対応する職員研修は今から始めるべきだと考える。	ボランティアなど、市民の方々のご協力をいただくための仕組みづくりや魅力的な蔵書構成について、引き続き、検討を進めてまいります。また、職員研修についても、より一層、力を入れてまいります。
	72	学校やコミセン図書室とのネットワーク化を望む。図書館は建物の利用に加え、機能が重要。建物が新しくなるのは好タイミング。全市民、全域的な図書館のサービス網をご検討されたい。	今後の図書館運営に関するご意見として、参考とさせていただきます。
17	73	階段について、傾斜はわからないが、歩きやすい階段とはいえほぼ直線の30数段は長すぎないか。階段の変更は出来ないのであれば、真ん中ほどに踊り場をつけていただきたい。ほぼ同じ段数の商業施設の階段を上ってみた。20数段ほどで下を見るとかなりの高さ。子連れの人、高齢者、荷物を抱えている人など少しでも危険を避ける配慮をしていただきたいと思う。	建物の構造を工夫することで階高を抑え、段数も30段より少なくなる見込みです。 傾斜は建築基準法等の関係法令に適合した上で、バリアフリー法で定められている基準よりもさらに緩やかな勾配とし、両側に手すりを設けるなど、誰もが安全に利用できるよう配慮いたしております。

	74	効率ある冷暖房について。1 階が吹き抜けになっており特に真冬の朝の暖房の効きはどうか。広い建物は暖房が効きにくい。職員の健康のためにも全体に暖房が行き渡るよう考慮していただきたい。	中央の一般書架エリアの吹き抜け空間については、居住域が適切な環境となるよう計画しております。また、その他のエリアについても、館内全体が快適な環境となるよう、空調設備の検討を行ってまいります。
	75	利用者用端末・個人用視聴覚ブース等について。プライバシー保護のため、他の利用者から見えないように設置してほしい。	プライバシーに配慮しつつ、セキュリティ面から、スタッフが適度に利用状況を確認できる程度の環境整備を検討してまいります。
	76	ボランティア室に洗面台を設置してほしい。小さいのでも、作品制作時に使用できると便利。	現時点では、トイレや管理エリア内に設置される洗面台をご利用いただく想定で検討しております。
	77	余裕のあるトイレの設置について。使用時に壁やドアに身体が触れないようなスペースと、使いやすい高さの荷物置台を作ってください。	適切な広さを確保すると共に、荷物置場を設置するなど、利用しやすいトイレとなるよう検討を進めてまいります。
	78	電子掲示板の設置について。図書館情報（利用案内、図書検索、カレンダー等）以外のスマイルあおぞらバスや勝田駅発着電車の時刻表など、画面タッチで詳細検索できるように。	電子掲示板に表示する内容を検討する際の参考とさせていただきます。
18	79	トイレについて昨今は盗撮や連れ込みなどの犯罪が目立っている印象。犯罪を抑止するようなアプローチや内部の検討をお願いしたい。できれば子どもスペースに子ども用のトイレ（子ども一人で利用できるもの）を設置していただきたい。小さいお子さんと来館した方も安心できると思う。 また、本を入れたバッグを持って入ることもあるので、個室内に荷物を置くスペースを使ってくださいようお願いしたい。	トイレ付近の防犯カメラ設置や職員の巡回など、安心してご利用いただける環境整備の検討を進めてまいります。また、児童書架エリアに親子でご利用いただける「親子トイレ」を整備する計画としております。 個室内の荷物の置き場についても、利用しやすいトイレとなるよう検討を進めてまいります。
	80	カフェに特定の業者が入るのは、図書館という場にふさわしくないように思う。障害者の働く場にするか、市民が利用できるシェアキッチンにしてはいかがか。また、シェアキッチンの場合は、開業支援も兼ねることができる。カフェに業者が入る場合、カフェを利用しない人も飲食・休憩できるスペースにしていきたい。イベントに使うことを想定し、飲食エリア・ティーンズエリアを繋げて使用できるようにしておくとういと思う。東玄関と飲食エリアを一体化すると、スぺ	飲食休憩スペースについては、今後、民間事業者の方々のご意見等も聞きながら、魅力的で、多くの方が利用しやすいスペースとなるよう検討を進めてまいります。この度のご意見は、今後の検討における参考とさせていただきます。

		ースが有効活用でき、建築費・設備費も少し低減できるのではない か。	
	81	オープン記念時など、少し大きめの規模の講演会を開く時もあると思 うため、多目的エリアの収容人数の検討、音漏れへの配慮をお願いし たい。また、講演会などする場合、控え室として使うスペースはある か。	多目的室については、最大で約 60 名程度が収容可能で一定程度の防 音性を有する部屋として整備します。また、イベント内容によって は、多目的エリア前のホワイエまでを一体利用することで、利用人数 を増やすことも可能とする計画です。 なお、講演会などの際の講師控室は、管理エリア内の諸室を使用する ことを想定しています。
	82	読み聞かせボランティアを想定されていると思いますが、将来的に本 の補修など他の種類のボランティアにも対応できるとよいと思う。	本の修理や館内の装飾など多様なボランティアの方にご協力をいただ ける仕組みづくりを今後検討してまいります。
	83	図書館の規模からいって、専用の予約本コーナーは必要ないと思う。 このスペースをグループ室やビデオ視聴コーナーなど、他の目的に利 用していただきたい。	現在の中央図書館においては、年間 5 千冊程度の資料予約があり、新 中央図書館では利用者の増加に伴い、さらに予約利用が増えると予測 しております。 予約本コーナーでは、予約者ご自身が、自ら貸出処理を行うことがで きるシステムの導入を検討しており、カウンターに並ぶことなく、非 対面で予約本を受け取れ、利便性の向上やプライバシーの確保などの メリットがあることから導入を予定しております。
	84	学生や公共交通機関利用の方のために無料のロッカーがあると良いと 思う。	館内にロッカーを設置する方向で検討を進めています。
19	85	今年オープンした県内他自治体の図書館は、夕方に学生が自転車で集 まり、駐輪場が不足しているため周囲に放置される問題が発生してい る。図書館周辺の通路に自転車が置かれると、車椅子やベビーカー利 用者、視覚障がい者にとって危険である。現在の基本設計では駐輪場 がまちかどひろば側に 2 か所しかないため、公園ひろば側にも設置す べきであり、満車時用に仮設駐輪場の場所も事前に確保してほしい。 また、学生の自転車行動範囲を正確に把握するため、他地域の駐輪場 や実態を調査し、利用者数の見直しと対応を求める。	今回の計画では、約 80 台分の駐輪場を設けております。駐輪場の位 置については、一目で全体の空き状況が確認できるよう、東西に分け ず、西側に集約して配置いたしました。 なお、台数の算定については、有識者のアドバイスもいただきなが ら、開館後の自転車での来館者数を予測し、それに基づく必要台数を 確保いたしました。

86	<p>建設予定地周辺にはひたちなか市文化センター、ふぁみりこらぼ、石川運動ひろば等の施設が集中している。これら複数の施設でのイベント開催日時が重なった場合、イベント参加者のための駐車場および駐輪場が不足する懸念がある。駐輪場は上記（意見番号：85）の対応をお願いしたい。</p> <p>駐車場に関しては、駅からのバス増便、親水性中央公園を仮設駐車場としてバス輸送、近隣の病院の駐車場や工場の社員駐車場を借用等、対応をお願いしたい。</p>	<p>今回、敷地内に設ける駐車場・駐輪場については、原則、図書館及び東石川第4公園の利用者用駐車場として整備するものです。図書館や東石川第4公園でのイベント等で駐車場が不足した場合の周辺の公共駐車場の利用などについては、今後、関係部署で連携して検討を進めてまいります。</p>
87	<p>ひたちなか市立図書館には移動図書館の導入予定がないが、新中央図書館は駅から遠く、高齢者や乳幼児にはアクセスが困難である。バス路線も不便な地域があるため、既存のコミュニティセンターや小中学校の図書室と連携し、貸出・返却ができる仕組みの導入を提案する。また、病院の入院患者や高齢者施設利用者への訪問図書サービスや、電子図書館の導入も求められる。市立図書館のアウトリーチを強化することで、すべての世代がそれぞれの環境で快適に読書を楽しめるようになるのではないかな。</p>	<p>今後の市立図書館におけるアウトリーチサービスに対するご意見として、参考とさせていただきます。</p>
88	<p>図書館にカフェを望む声が多いのは理解でき、自分もあれば利用したいが、周辺にはスポーツ施設が多く、利用後に立ち寄る人々の会話が館内の静けさを乱す懸念がある。近隣にコンビニもあるため、飲食はそちらで済ませてもらい、図書館内には自販機と軽食スペース程度の飲食可能エリアを設けるだけで十分ではないかな。周囲の環境や他図書館の事例も参考に、静かな読書空間との両立を考慮すべきである。</p>	<p>飲食休憩スペースについては、今後、民間事業者の方々のご意見等も聞きながら、魅力的で、多くの方が利用しやすいスペースとなるよう検討を進めてまいります。この度のご意見は、今後の検討における参考とさせていただきます。</p>
89	<p>ひたちなか市の外国人住民が増加している中、彼らに日本語を学んでもらうため、ブックスタートを導入してはどうか。ブックスタートは1990年代のイギリスで、外国語を母国語とする親を持つ子供たちの識字率向上を目的として始まった。この取り組みは、外国人の日本語学習を助けるだけでなく、乳児期の読書体験が後の読書習慣を促進し、ゲーム習慣を減らすことが示されている。実際、ブックスタート</p>	<p>ブックスタート事業に関するご意見として、参考とさせていただきます。</p>

		事業がある他市町村では、子育て支援策が充実しており、ひたちなか市から転居するケースもある。市長が目指す子育て世代に選ばれる街を実現するために、この事業の導入を検討してほしい。	
20	90	新中央図書館の開館に向け、図書館運営に必要な人材育成が急務であるとする。司書や学芸員、社会教育主事などの専門職を増員し、シビックリングを専門職が一貫性のあるコンセプトで運営することが求められる。また、市民の意見を取り入れつつ、ひたちなか市の歴史や未来を踏まえた図書館設計が重要。さらに、市民に多面的に対応できる社会教育施設として、職員が専門職としての知識を活かしつつ、行政職員としてのスキルも求められる。バランスよく資質とスキルを備えた図書館員を養成するための研修の充実も必要。また、非正規職員の戦力化も課題。会計年度任用職員制度の士気の高い職員が安定して働ける職場環境を作り、職員の流失を防ぐべき。私がこれまでに訪れたなかで「わくわく」を感じた図書館には、必ず自館に責任と誇りを持ったスタッフがいた。	市としましても、中央図書館に求められる社会教育施設としての役割を十分に果たすため、司書などの専門職を含む図書館職員の人材育成が重要であると認識しております。会計年度任用職員を含む図書館職員について、より一層のスキルアップを図るよう、国や県、関係団体が実施する各種研修への参加などを継続的、計画的に進めてまいります。 また、専門職の配置について、令和8年度新規採用として司書を1名募集しており、職員体制の強化を図っていく考えでおりますと共に、引き続き、会計年度任用職員を含む職員の働きやすい職場環境の整備を進めてまいります。
21	91	新中央図書館は津田から行くには遠すぎる。津田分室やコミュニティセンター内の図書室の書籍の充実を希望する。	中央図書館津田分室やコミュニティセンター内図書室の配本に対するご意見として参考とさせていただきます。

令和7年9月26日

ひたちなか市議会

議長 薄 井 宏 安 殿

文教福祉委員会

委員長 清 水 健 司

閉会中の継続調査申出書（案）

本委員会は、所管事務のうち次の事件について、閉会中の継続調査を要するものと決定したので、会議規則第111条の規定により申し出ます。

記

1 件 名

- （1）福祉行政について
- （2）教育行政について